京城日報
(年中無休刊)
本紙一部金參錢 一箇月金七十五錢 ……
廣告料 五號活字一行金一圓五十錢 ……
發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

七月二十九日夕刊 (朝刊併せて八頁)

支那調印の段取

支那は山東省を支那に還附す可しとの日本の宣言は單に支那のみに與へられたるものに非ずして全聯合國に對して與へられたるものなりとの証明を講和會議より得たる後直ちに對獨講和條約に調印す可しとの説あり(巴里電報)

獨强制公債計畫

獨逸新聞の所報に據れば獨逸政府は二分利附强制公債一千億馬克の募集を計畫しつゝありと(アムステルダム電報)

婦人選擧案否決

佛國上院婦人選擧權委員會は婦人をして下院議員選擧に投票せしめんとする下院の可決したる法案を三對十一票の多數にて否決したり(巴里電報)

對張討伐宣言書

廿七日吉林督軍部の名を以て日本官廳側及び各省督軍、省長に宛て『中央には何等敵意無きも奉天張巡閲使の妬嫉なる行爲を憎み茲に討伐軍を起すものなり』との宣言書を發表し猶各省宛の分には『此趣意を諒とし我が討伐軍に對し援助を與へん事を望む』旨附記打電せりとの報あり

孟長春來著

黑龍軍參謀黃鶴鳴氏來長せしとの報に接し孟氏は部下百二十餘名に衞られ二十八日午後一時半臨時列車にて吉林發同五時二十分東門外長春驛に下車し直ちに道尹公署に入りたるが發着の前後沿道の警戒嚴重にして寸隙も無かりき孟、黃兩氏會見の上にて哈爾賓より鮑吉林督軍來長事務の引繼きを爲す可しと(長春特電)

國際勞働會出席 準備委員會開催
派遣委員物色困難

農商務省にては廿八日午後一時富士見町農相官邸に國際勞働會出席準備委員會を開きたるが當日は

一、倫敦に開催されたる國際勞働會議に於ける四條件の決議事項
二、巴里同會議に於ける九箇條の議事項
三、國際勞働會議に出席す可き本邦派遣委員の人選

を議題とし第一回會合を催し各省より蒐集の參考資料及其意見を聽取し本省にて意見を作り參考と爲す樣原案を作成し本會議に附議する事となりたるが本邦に於て最も問題となりつゝあるは

(一)勞働時間制限
(二)婦人出題
(三)最低賃銀

の三項なるも右は到底本邦の事情に照して聯合國と比肩して勞働問題を協議するは甚しき軒輊あるを以て結局除外例を求むるの外無く而して派遣委員は政府側二名、實業家一名、勞働者一名及び顧問二名(中一名は婦人)なるが政府は大臣格の委員を任命して出席せしめ度き希望にて種々物色しつゝあるが若し適任者あらざる節は目下巴里に在る岡實氏を任命する事となる可し而して茲に最も困難を感ずるは勞働者委員任命にて政府は最も適任者を推薦するに非ざれば國際勞働會議の牛耳を執れるコンパス氏の反對に遭ひ出席を拒絶さるゝの虞あり尚又婦人の參加委員は目下の所甚だ難問題にて未だ目鼻も附かざる状況なり(東京特電)

對歐輸出困難
爲替相場昂騰

對歐輸出貿易は休戰後船腹の非常な緩和を告ぐると共に漸次復活機運に向へるが這は幾許もなく挫折して輸出貿易は益々不振なれり特に最近に及びては歐洲爲替は英國の爲替調節政策廢止に次いで米國の金輸出解禁以來是が影響を蒙りて英米間爲替相場の暴落を來し其後も益々底止する所を知らず最近相場は四弗三十五仙の低率を示せる有樣にて勢ひ本邦の對歐爲替は昂騰を示し輸出貿易をして益々不利の餘儀なきに至らしめたり既に横濱正金銀行は爲替相場變動の劇甚なるより其建相場に於て確固たる標準を得ること困難となれる由にて英佛共に名目相場を以てする變態現象を呈し目下同行建名目相場は倫敦宛四箇月拂賣二志四片四分の一を示し一方佛國宛四箇月拂賣は三法六十參の高率を示せるも實際に於ての輸出業者取組相場はより以上高率にして佛國宛

四ケ月拂買 の如き遂に高値の三法八十三參見當を視し居れりと云ふ斯の如く對歐爲替の昂騰を示せるのみならず爲替銀行は其取組みに際し尠からず一部外國銀行は爲替取組を拒絶せるものあり此の事にて輸出業者の立場は益々苦痛となれるが而も是と同時に休戰後暴落を示せる對歐運賃は比較的騰貴せず騰し生絲運賃は最近漸次暴騰し遂に郵船及び大阪商船は十七日エムエムは二磅を視し絹紡原料の屑絲運賃の如きは益々昂騰を視して横濱マルセーユ間噸二百三十法を告げ最低率とは二倍以上に騰貴したる有樣にて今や輸出業者は爲替取組の困難と加ふるに

運賃高の爲 「一層窮境」に陷れるが如し要するに歐洲各國に於ける經濟狀態は依然不安定に在りて秩序恢復猶容易ならざる如くにて對歐輸出貿易は單に爲替取組に於て困難なるのみならず差當り殆ど絕望的狀態に在れば戰後這般對歐輸出取引の一般的盛況を來すは期待し難き所なる可しと(東京)

政務總監設宴

山縣政務總監は三十日午後零時半朝鮮ホテルに於て午餐會を催し淨法寺師團長、內野守備隊司令官、兒島警務總長、大野參謀長、木村軍經理部長、齋藤六十聯隊長(前副官)前田關東憲兵隊長、山本軍參謀其他を招待すべきが鈴木長官、荻田、關屋兩局長、松永道長官、持地遞信局長官、東條武官、遠藤秘書課長等全員二十名出席すべしと

忠南市場殷盛

大正七年中忠淸南道に於ける市場總數は九十一箇所總額千百九萬三千圓にして之を大正六年の市場數六箇所總賣買高四百六十八萬四千圓に比較すれば市場數十箇所の增加を示せり而して之が原因は經濟界の好調に依る購買力增進及び輸移出品の增加並に從來行はれたる畜類の密賣が畜産組合組織以來同組合に於いて賣買仲介を爲す結果密賣の減少にあるも若物價の昂騰も亦其主因なるが如し今兩年の賣買額の種別內譯を比較表示せば左の如し

	大正七年	大正六年
農產物	[illegible]	[illegible]
水產物	[illegible]	[illegible]
穀物	[illegible]	[illegible]
畜類	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

尙七年分中賣買高五十萬圓以上の市場及び其賣買高を擧ぐれば左の如し

鳥致院	[illegible]	論山	[illegible]
新場	[illegible]	廣川	[illegible]
天安	[illegible]	大川	[illegible]
温山	[illegible]		

水稻挿秧進捗
各地共昨年と同面積の植付を終了

大正八年の水稻作は播種期に於て多少用水の不足を憂へたる地方ありたるも其の後全道に亘りて多量の降雨あり且つ其の分配宜しきを得各地共用水潤澤なりしを以て苗の生育良好にして挿秧の進捗狀況亦昨年と大差なきも黃海道の一部に於ては用水不足し挿秧遲延の箇所あり今七月十日現在の作付反別を調査するに百四十九萬三千八百二十五町四反歩にして之を前年の總作付反別百五十一萬六千七百三町歩に比すれば二萬二千八百七十七町六反歩即ち一歩五厘減少せるも其後に於いて相當挿秧せられたるを以て黃海道の分を除きては各地共昨年と同面積の植付けを終了したる見込みなり左に地方別水稻作反別及び前年との比較表を揭ぐ

道別	七月十日現在作付反別 (町)	前年總作付反別 (町)	比較增減 (町)
京畿	一九三、二八六、八	一九三、五七〇、二	△二八三、四
忠北	六五、四〇五、六	六七、四六一、四	△二、〇五六、八
忠南	一五二、六九一、五	一五九、六〇一、七	△六、九一〇、二
全北	一六二、八六〇、〇	一六三、一八四、四	△三二四、四
全南	二〇〇、三三五、九	二〇〇、六〇三、三	△二六七、四
慶北	一八六、六九七、一	一八六、五七九、三	一一七、八
慶南	一六三、〇八七、三	一六二、二三三、七	八五三、六
黃海	一〇八、二〇九、四	一二四、六二一、〇	△一六、四一一、六
平南	六二、九八四、七	六二、三三三、〇	六五一、七
平北	七一、八五七、〇	七二、六二六、〇	△七六九、〇
江原	七八、五四〇、四	七七、〇〇〇、〇	一、五四〇、四
咸南	四一、一〇〇、六	四〇、三六四、〇	七三六、六
咸北	六、七一七、一	六、三〇〇、七	四一六、四
總計	一、四九三、八二五、四	一、五一六、七〇三、〇	△二二、八七七、六

西伯利 (八)
參謀本部總務部長 武藤信義氏談

西部に於ける反過激派政治團

後貝加爾以西即ち西部西伯利に於てはチエックスロヴアック軍が過激派に對して砲火を交ふる以前に於て既に若干の反過激派の政治團は時機を覗つてゐたのであるが偶チエックスロヴアック軍が過激派と衝突を惹起するや此の機に乘じて

一齊に蜂起

した其中に最も有力なるものはトムスクの南方より現出してオムスクに西伯利新政府を組織したるゴロゴッスキー內閣であつて是が麾下にはボタニンの門下たる者が其の大部分を占めてゐた是れが第一番に事を擧げたるものであつて其の政綱は露國の復興と西伯利の自治成立であつて色彩は若干の社會黨員の外は悉く立憲民主黨であつたそれからサマナ政府ウラル政府の三ツであるがサマナ政府はアクチエンシーフを首領とするものであつて社會革命黨員が其の大部分を占めそれからケレンスキー時代に創立したる建國大會の議員の一部を以て成立してゐる

其の政綱は

即ち露國をして民主共和國になさしむるといふの目的を以て立つたものであるウラル政府はウラル哥薩克を主腦とするの政團であつて前述の二政府に比すれば遙に遜色あるものであるが是等三ツの政團は各其目的を異にしてゐるが其手段とする處は即ち過激派掃蕩といふので先づ此の三政團が其の共同動作を執り過激派軍を西方に壓迫なしつゝウラル線を作り漸次前進したのである然るに八月の下旬過激派軍の勢力は漸次優勢となり忽ち攻守位置を轉じて政治團の不利は一方ならず遂に其壓迫にサマナ及びウラルの方面は甚だ

危險の狀態

に瀕するに至つたそこで若し此の儘に捨て置いたならば各政治團も悉く自滅の悲境に陷るの外はないと自覺して茲に聯合政府設立の提議となつたそしてウファーに於て各政治團より代表者を出して會議せしめたのであるが彼の有名なるウファー會議といふのは是であつて即ち其の結果は各政治團より五名の統領を選出して是れに依つて合同政府を組織せしめた是が即ち全露政府であるが然し乍ら各其色彩を異にしてゐる政治團の合同政府である爲に軋轢は常に絶えず意見屢々衝突して到底永續すべしとは思はれなかつたが果せるかな僅に一箇月を經過する事なく二三週間の後に於て遂に此

合同政府も

破壞するの已むなきに立ち至つたそこで再び會議を催うした結果今回は五統領選出の定規を全廢し獨裁官なる者を選出するに決した即ち此の獨裁官なるものに選出されたる人こそ海軍中將コルチヤックであつて露西亞政府といふのは即ち是である而してコルチヤックの發表したる政見の概要は『予は保守家にあらず社會黨にあらず即ち黨派的偏見は斷じて予の厭ふ處なり即ち今日に於ける露國の悲境を知ると共に其悲境に陷りたる故因を知諒せり故に予は露國の復興を祈る者にあらず只堅實なる民主的基礎の下に於て大いなる發展をのみ希ふものなり』といふのであつたそこで其の施政は殆んど獨裁的であつて是れに對して

反對の意見

を有する者には强烈なる壓迫を加へた是れが爲めに軍隊側に於ては多大なる便宜を得たのであるが一般側の不満は常道ならぬものがあつて遂には露西亞政府の轉覆をさへ企圖するに至つた併し乍らコルチヤックは是等に對しても一歩をだも許す事なく斷々と措置するに決して躊躇しなかつたが是が爲めにさしも亂れたる露西亞も漸次秩序恢復の曙光を仰ぐに至つたのである(東京支局)

滿鐵增給
先づ雇傭人

今回滿鐵にては社員全般に亘り增給す可く研究中なるが全部の調査終了迄には二箇月餘を要する爲め差當り邦人社員の月給三十圓以下の雇員傭人に對し月六圓傭人日給者に對し日に十錢の增給を爲し八月一日より實施す可しと尙京城管理局の分は目下交涉中の由(大連特電)

湖南地方降雨

京城米所入電によれば二十七日夕刻南鮮方面に降雨あり全州六十粍榮山浦五十粍木浦三十粍仁川三十粍を示せしが旱天續の折柄とて農作物の影響可良なれど唯降雨時間短きため雨量の割合にその地下浸透力は薄弱なりしもの如く尙ほ農民は降雨を切望しつゝありと

鮮銀券膨脹

前週に於ける鮮銀券の發行平均高は一億六百三十萬圓を示し週末は一億九百三十萬圓に膨脹したるが右につき鮮銀當局は曰く前週に稍急なる膨脹を告げしは二百萬圓を軍用として浦鹽方面に現送せしためなれど然も大勢は漸次膨脹の途を辿らんとしつゝありとの理由は結局物價の騰貴度なきにありとなすが當りとすべく今後多少の縮小を見ることありとせんも一應頭打の如きは先づ望み難からんか

仁川取引所 非難の聲
鮮人來客筋三度騷ぐ

米價の狂騰止まる處を知らざる仁川取引所の熱狂市場に冷水を注ぐ虛電を傳へて大混亂を演ぜし誤電を掲示して崩落反撥の波瀾を起し或は來客筋の激昂となり無効呼ばはりとなりて其の都度紛紜騷擾を絕たざりし矢先二十八日三度び電報掲示の遲延より端を發して

鮮人來客筋

の憤激する者甚だしく遂に三四十名の客筋は仁川取引所に出頭して之が陳情を爲す等僅か旬日の中に三度びの失態を演じ市場漸く非難の聲盛んならんとす斯の如くして仁川市場は遂に公定の實を擧ぐるに由なくて一部奸惡者流をして理事者の誤れる方針の下に遂に亂脈相場を現出しつゝある事實は誠に以て遺憾とせらるゝあり元來市場に於ける奸惡者流の時に流言虛說を傳へて市場の人氣を攪亂し動搖に乘じ自ら暴利を貪らんとする火事泥的手段は從來之無しとせざるも今日の如く甚だしきはなし加ふるに

理事者の市場に臨むや更らに定見を有せざるが故に

事毎に紛擾を生じ易し之れ果して何人の責任なりとするか、今日理事者の方針として執りつゝある

市場の處理

を見るに取引所自體の本來を既に根本的に誤れるものなきかを疑はざるを得ざるものあり即ち如何なる場合に於ても取引所は其の公定相場を作るべき使命を帶べるは論なき處なるに理事者は

公定と調節とを履き違へて

或は市場を以て一つの調節機關となせるが如き態度なり試みに一二の實例を擧げて之を立證せんか曾て取引所は釜山に於ける正米相場の入報を待つて之を市場に掲示し以て相場の高低の參考としたりしが時に偶々高値の入報あらんか決して之を掲示せざるを常とせり理事者は之に對して說明して曰く米價狂騰の高値の入報を掲げて徒らに更に奔騰せしむるは面白からずと、何ぞ其兒戲に類するや、二十八日三度來客詳人の紛擾を惹起したるも此の

誤れる方針

に基づく即ち當日前場第一節の終りに於て大阪電報は寄附第一節値に三十七圓二十五錢の高報を入れ前日止値三十六圓五十錢に比し實に七十五丁上放れの入電に接したるに理事者は妙からず縮惜の色を以て又もや誤電にあらざるかと躊躇し遂に一節の立會を開始して之を終る迄該高値の入電を市場に掲示せざりしが爲め此の間來客筋の誤解を生みて遂に三度の騷擾を醸すに至り斯の如きを以て果して定見ある處置となし公定機關たる本來の使命を克く盡しつゝある者と云ふを得べきか加ふるに取

引所內部近時の官臭は徒らに規則に拘泥して繁文に禍ひせられ

普通なる電報掲示の如き多くの順序を踏まざるべからざるが故に時刻を費やすの憾みあり、更に又官を罷めて下れる所員其他

腹心の配下

を集むる殆んど二十名に垂なむとし所內は身動きもならぬ狹隘を感じ何が故に斯く急激の增員を爲せるかに疑惑を感ぜざる能はざるものあり之れ早晚在來の所員を馘首する前提として置かれたるものなるは既に自明の事に屬し斯くて熟達せる所員の悄々たるに事務の進捗を得たくるるは爭ふべからざる處なるが如く非難囂々たるものありと(仁川)

仁川期米强硬

米穀無盡藏を材料とし一時崩れたる正價もその後の發達を呈し期米に正米に東京大阪共に騰勢を辿るより二十八日後場より續騰し二十九日前場は寄附四十一圓四十錢止の五十六錢の高値相場を現はしが何分大阪の時打續くより米作悲觀の買氣旺盛につき何先尙ほ高張らやうこ

深川正米暴騰

二十八日東京大阪定期米市場の暴騰を入れ深川正米は纏著材料とし一圓廿錢の暴騰を來し四十八圓十錢を唱へり(東京電報)

電信係長會議

遞信局にては電報發着上に對し改良を圖るため京城、釜山、平壤、元山四管理郵便局電信係長を本局に招集し來月七八九の三日間電信係長會議を開會する事に決定したりと

某當局曰く

電報の遲延に對する非難は少からず聞くが其理由は幾何もなく新聞に要するに電報の激增に伴ふ係員も確らず線條も增加する乃で電報の遲延は線條の增加及係員の增加此二つより外に道はないのであるが然し乍ら何れも重大な關係あり又技術員の如きは相當期間を練習させぬ素人では用をなさぬのであるけれどもそこに何等か應急の策がありはせぬか假へば電信係に於ける事務の方面は必ずしも

技術の心得

がなくとも勤まるけれどもこれらに技術者を充當するやうの事をして居らぬか又電報數の調節に何等か良

西大路子入城

貴族院議員子爵西大路吉光氏は二十八日午後七時五十分南大門着入城したるが二十九日午前九時東拓松平理事案內にて總督府に山縣政務總監を訪問し總監の案內にて廳舍內を視察したり

入事消息

▲木田幸介氏(水原模範場長) 二十九日朝退城
▲杉山四五郎氏(關東都督府事務總長) 二十九日朝入城天眞樓へ
▲內地木材商一行 安東縣に開催せらるべき木材商大會出席の爲め東京名古屋秋田等の木材商二十名は廿九日朝入城天眞樓へ投宿せり
▲岡田由次郎氏(東京高等師範學校教授) 總督府より小學校教員夏季講習會講師を委囑され三十日午後七時五十分南大門驛着列車にて入城京城ホテル投宿の筈
▲松波仁一郎氏(法學博士) 二十八日夜入城
▲岡倉由次郎氏(東京高等師範教授) 三十日午後七時五十分入城京城ホテルに投宿の筈

八面鋒

◆米國上院は依然論辯沸騰政府は遂に條約批准を遲延せんとす
◆埃國は條約調印を拒絶せんとし議定の結果は混沌を呈す
◆英國は物價騰貴に苦み佛國は勞働問題に苦む何方を見ても憐む可き
◆米國に黑人騷動あり之が大統領の火線たらんは幸ひなり
◆巴里公會に人種差別撤廢を唱へし日本提案の首唱者に註目せし
◆米國に於ける黑人の數は其の智識階級を通じて頗る莫大なり
◆入種差別の撤廢を常に希望しつゝある彼等は其時機を待つ
◆日本提案の首唱に失望し彼等は遂に失望して騷動に終れり
◆彼等は遂に失望して米國の方針に憤激しつゝあるの窮狀なり
◆此等の騷動は上に支那の混亂と云ふ過激派の策動に乘じて
◆事態の如きも其源は深く
◆近に進んで不穩なる丈の事は何か
◆米國は全く危險に陷るべく其衝突を混じ過激派之に乘ぜんか
◆寛城子事件の裏面には奸策を許さず其行路や暗澹たり
◆果して張督の苦肉策なるの濟むべしとは曾て觀破せる
◆間諜煽動は支那文武官の公然發表さる其の責任は何れにも在り
◆無智蠻勇の兵が機に觸れて暴行せしとは果り既に陰謀明白ならず
◆其解決に當つても一往、嚴重ならざるべからず此際容赦無用
◆孟張兩者間に妥協成立の如く等へらるゝも未だ實行は不明
◆吉林軍は依然奉天軍を繼續すと云ふ宣言をなし
◆奉天軍は容れざる處にて一段局面の轉回をなすは支那の常也
◆未だ何とも云はれざる
◆邦人保護の我增兵は必要なり
◆東都野球界の猛勇慶應選手も新して半島軍と雌雄を決すと
◆近來の一涼味たらずとせず
◆何かあらん强敵に屈す勿れ
◆虎疫奉天を襲ふ徒に對岸の火災視する勿れ速に豫防を設よ

一、大麥參千貫 右來ル八月一日午前十一時入札ニ付希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ 京城府

鐵網混凝土

耐火耐震の家が出來る 早く廉く 川崎の網を張り混凝土を塗れ
東京芝區田町驛前 川崎工場 (發明者進呈)

名刺 京城長谷川町 中田豊成社 電話二二〇五番 振替京城四七六二

謝類燒御見舞 京城黃金町一丁目一九二 北村憲亮

謝近火御見舞 京城黃金町一丁目二〇 朝鮮出版社

謝近火御見舞 京城長谷川町 大阪產業株式會社 京城出張所

謝近火御見舞 京城太平町二丁目二 電氣諸工事 請負器具材料販賣 石田孝太郎 電話二千九百四十八番

謝近火御見舞 京城黃金町一ノ一九四 京鍋門 池田チク

謝近火御見舞 京城太平町二丁目 無烟炭 各種石炭 コークス 谷啓介商店 電話二八九番

謝近火御見舞 京城太平町二丁目 諸官衙御用 高等人力車製造販賣 堀商店 電話二九〇番

謝近火御見舞 京城長谷川町 紙函製造 洋紙販賣 鼎商會 電話九一八番

謝近火御見舞 京城長谷川町百一番地 祥興洋服店 主任 張鴻海 電話九七一番

謝近火御見舞 京城長谷川町九一番地 京城酸素熔接所 遠藤一二 電話一參八九番

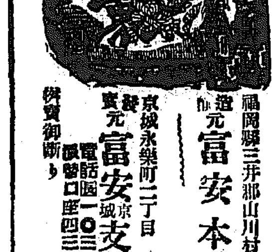
本朝近火の砌には早々御駈付被下御厚情奉謝候不取敢以紙上御禮申上候
京城太平通二丁目二番地 紙商 播本商店 印刷部 大海堂印刷所

株式會社 第一銀行 京城支店
資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千四百六拾萬圓 總預金 參億三千萬圓
京城本町一丁目 振替貯金京城二三番 電話二二三・二六一・二七番
支配人 佐々木勇之助 取 竹村利三郎

▼鮮滿を風靡する パイン萬年筆の權威

縱出 八圓八十錢 横出 六圓八十錢 短軸 四圓九十錢 實務用 三圓八十錢 學生號 二圓八十錢 事務用 一圓九十五錢 新製品吸入式 五圓八十錢
▼萬年筆の名はパインに依りて愈高し▲
發賣元 京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

各時計御商 創業明治二十八年 貴金屬製作御所 帝國火災保險會社第一代理店 京城黃金町一丁目 喜多金光堂 (電話一〇一五) 振替京城七八二番

優等酒

福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店 京城永樂町二丁目 發賣元 富安支店 電話一〇三九番 振替口座四三九番 (併賣御斷り)

小生所主家屋金谷園火災の砌りは消防隊を始め各位の御盡力にて他に類燒を免かれ御高誼奉深謝候混雜中尊名相伺洩れも可有之不取敢以紙上御禮申上候
家主 林澤成 同 林善樑 代人 周昭高

今朝未明失火の節は御近隣を騷かせ申澤無之候尚關係官憲消防隊並に日頃恩顧各位の御盡力にて他に類燒を免かれ候は不幸中の幸にて偏に御厚情の程奉感謝候混雜中尊名伺洩れも可有之不取敢以紙上御禮申上候敬白
大正八年七月二十九日 京城長谷川町電話一五二五番
金谷園 主任 周常賀 副主任 周世顯

四阿の蔭から（江溪撮影）
聞ゆる笛に知る明たのしき納涼かな（合浦）
遠の松原にちらほらとある浴衣かな（背史）

明治天皇祭
卅日京城神社に於て
遙拜式も擧行

明三十日は明治天皇祭につき畏き邊にかゝられては桃山御陵に勅使を差遣せられ宮中皇靈殿に於いて御親祭を行はせらるゝに依り京城神社に於ては當日午前九時より中祭式に準じ嚴かなる祭典を行ふ今其式次第を記さんに早朝御神殿を裝飾し[illegible]各員所定の座に著き[illegible]次いで[illegible]御神饌を供し了つて齋主祝詞を奏上し次に齋主[illegible]御神前に[illegible]幣を奉り[illegible]撤饌[illegible]拜禮[illegible]更に別に設けたる遙拜所に於て[illegible]山陵を奉拜し[illegible]捧げて式を終る筈一般に諸つて參拜せらるべしと

南支那の山賊村
不濟僧にでも有り相な處
村民皆大ナイフ、短銃を携へ
頭目は眉目清秀の青年

いな北海道古津油闡洞金徳[illegible]字文武梅（三三）の兩名が廈門[illegible]政府の保護を受け藏々を經[illegible]にて廿七日歸臺門司水上署に引渡されたる兩人の語る所によれば兩人は

他の一名 と共に一昨年來支那福建省に到り亞米利加人の藥を仕入れて内地深く行商を試しみたるが同地にては例の排日熱熾んにして各所に『外交失敗』『日貨買ふべからず』『泣いて國民に告ぐ』『國家將に滅びんとす』など到る所に貼札あり又

盛に排日 の演說を爲して日本品を買はず商賣面白からざれば引揚げんと二名は他の支那人一名と共に船に乗りて川を下り福建省海澄に出で西溪と云へる岡岸の山は高まり道り甚だ險しき所に著きし時約三十名ばかりの盜賊に

手に短銃 を持ちて現はれ出でて船を止めさせ四名を捕へ[illegible]の擔ぎ[illegible]して繁り然る[illegible]奇石道に横たはり行路頗る險なる道を遂に山上に引き行かるゝ途中には所々茶園ありて其處に働ける農夫の腰に山刀と見るべき

大ナイフ を提げ自分達の引かれゆくをさも心地よげに冷然と見送り居れるは何れも同じ仲間なるべく斯くて盜賊の根據地たる三十軒ばかりの村に著き更に夫より尚奥深く行くに大巖窟ありて頭領株なる二十五六歳の

眉目清秀 の男三名何事か話合つて命令すれば部下の小賊は短銃と劍を擬し金を一萬圓寄せねば殺すぞと脅迫せるより我等は何の一萬圓の金があらうかゝる山奥に來るべきかと命乞ひを爲せるにさらばとて手に入る人參と現金とにて

百卅圓餘 とシャッズボンを殘して衣類全部を强奪し一夜巖窟に止めたる上官憲に届けなば命は無きぞと脅かしたる上釋放したれども漸く平地に赴くやらに支那官憲に届け出でたれば兵一派して討伐に向はしめたるが

件の兵士 は歸り來らず十日間同地に滯在せるも目下逢ひと共に捕へられたる支那人は三圓より持合さゞりし下宿なりしが四日間巖窟に抑留されし歸り來りたり夫より我等は船長より旅費を惠まれて門領事館の保護を受け歸り來りたる次第なり云々（下關）

戰利獨艇來鮮期
九月上旬と云ふ說
釜山、鎭海、仁川に三泊

戰利獨逸潛水艇の我海軍に引渡されたる七隻より成る北巡りの巡航隊は八月上旬橫須賀軍港を拔錨し途中青森、新潟、敦賀、舞鶴を經て九月上旬釜山着同地に於て二隊に分れ一隊は釜山に於て、一隊は鎭海に碇泊し三泊の上再び合して仁川に來航三泊すべく碇泊中は一般の觀覽に供したる上長崎其他を經て十一月中旬橫須賀軍港に歸著の由なるが各碇泊中は講演會を開き海事思想を振興せしむる筈なりと尚來航すべき潛航艇は第三（七百五十噸）第九、第七（七百噸）の三隻なりと

浦鹽まで傳書鳩を
八百哩の試放

東京市外中野に於て目下飼養中なる佛國軍用傳書鳩をして浦鹽まで約八百哩間を試放せしむる計畫の由にて佛國軍根據地[illegible]

東京株（至急電報）[illegible]

釜山正米市場 [illegible]

仁川期米 [illegible]

小荷物の取扱改善
名札を付けよ

鐵道貨物取扱ひ中特に小手荷物取扱ひに付いては往々紛失又は行方不明等の爲め旅客の迷惑は言はずもがな鐵道當局に於ても處理上困惑を感ずる場合少からず種々の方法を以て是等事故の除去の手段を講じ居れるも尚萬全を期し難き現狀なるが事故中の多くは

荷札の離脫 に起因するもの多數なるを以て其取扱方に付き特に一定の方法を指示することゝなり一方試に主要驛中小荷物の輻輳する驛所に限り荷主の住所氏名表示札を貼布することゝなしたるに實行後の成績良好なるを以て行く〳〵は各驛に

一般に實行 する事となる可く託送の際荷主に於ても其荷札又は荷先乃至手荷物等には自己の住所をも併記したる名刺等を取附け相當の注意を拂はゞ兩々相俟つて事故防止の便益なるべしと

仁川の遙拜式 三十日

明治天皇祭に付き午前十時仁川神社に於て遙拜式擧行官民多數の參拜ある筈（仁川）

鐵道 自動車値上
運轉區間擴張

物價騰貴に伴ない運轉用諸材料品費も亦漸騰し來り現定賃金にては經營困難なるものあり朝鮮ホテル及び平康長安寺間並に金剛山探勝往復自動車は段し其筋へ運賃値上申請中にして亦過般來改修中なりし元山高城間自動車道路も近く竣成の曉にて現行終點温井里間を元山迄引延運轉開始する事に決定し孰れも愈々八月一日より實行の事となれり而して改定賃金

金剛山探勝 往復 は平康長安寺間十二圓貸切五十圓元山温井里間十四圓貸切四十圓區間外一里に付き三十五錢手荷物賃一里に付き十斤六十錢なり朝鮮ホテル改定賃金は一時間ハドソン、ビーイック、ハップモビル六圓、同フオード五圓、半日ハドソン、ビーイック、ハップモビル十八圓（但し四時間以内）同フオード十五圓（但し同上）一日ハドソン、ビーイック、ハップモビル卅圓（但し八時間）以內同フオード二十五圓（但し同上）なる由

憲兵制度撤廢問題に就て
在京城 岡情生

◇最近中央政界の問題となり居れる鮮滿憲兵制度を撤廢し普通警察制度に改革せんとするは時代の趨勢により已むを得ざる所ならん余亦今日の改革は當然なりと思惟するものなり。

◇然り而して制度を改革せんとするには當局に於ても相當に研究ありての事なるべく世に現はれたる案を見るに如何に用意周到なる當局者と雖も時には實際を無視するが如き[illegible]老婆心までに憲兵の爲め一言せんとす

◇吾人は[illegible]之れを論ずれば憲兵撤廢の場合は須らく彼等の成績の途を講ずべきこと是なり若し此問題にして閑却せられ何等の講究する處なく漫然撤廢するが如き事あらんか延いて至大にして將來思想上に及ぼす[illegible]問題を惹起するやも知られず

◇吾人はけなん、憲兵は軍紀の下に在る軍人なるが故に決して然る[illegible]して然る事あらん。然れども亦[illegible]

[illegible]

冥土の道伴れに
小兒を撲殺し
男女四名に重傷を負はす
加害者は自殺しかけた鮮人
兼二浦の大慘劇

籍平安南道平原郡玉水里當時兼二浦面大正町古物商盧昌煥（三）は二十七日午後十時頃自家突入內にて突然小刀を咽喉に突き立て

自殺を謀 りたるが此樣を見たる同人の妻は打驚き小刀を捥取らんとして爭ひつゝ、聲を限りに助けを求めたり、隣家なる籍熊本縣玉名郡八幡村大字龍岩寺三九五田堀伊之助（二）は此悲鳴を聞き附け夫婦喧嘩ならんと思ひ仲裁の考へにて直ちに盧の家に立入りたるが血を見て

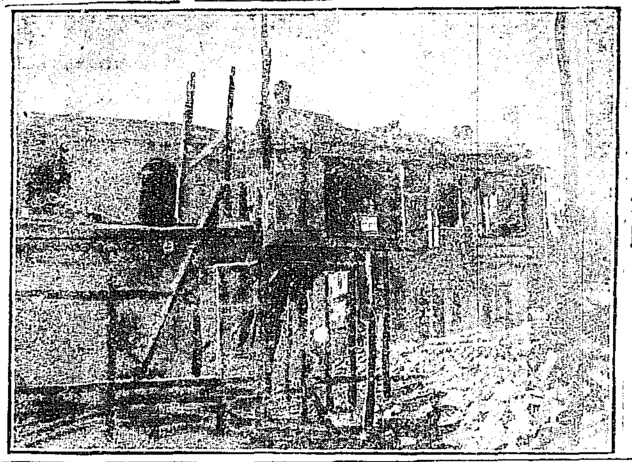
狂亂せる 盧は己の咽喉を割した小刀を揮つて田堀に斬つて掛り田堀は足に輕傷を被りたるも辛うじて現場より逃れ急を警察に報じたり一方盧は猛り狂ひ店頭に在り合せたる古ショベルを携へ隣家なる田堀方を襲ひ逃げんとする田堀の妻つま（二三）の頭部にショベルを打込みたればつまは

悲鳴を揚 げて其場に打倒れたり、斯くて盧は素早くも彼女いま（七）に肉迫し又々頭部にショベルを打込み殆ど致命の重傷を負はしめ同女の打倒るゝを見て、最後に本年一月生れなるつまの實子しづに一擊を加へて即死せしめ現場は目も當てられざる慘狀を呈したり血に狂へる盧は更に向側なる永保香川縣香川郡安原村大字東谷藤澤[illegible]八（三）方に闖入し血潮に染み[illegible]ショベルを以て一擊の下に又々同人に重傷を負はしめ置き更に引返して

菜切庖丁 を携へ附近に居住せる兼二浦憲兵分遣所在勤の李刑事を殺害せんとして同人方を襲ひたり然るに恰も李刑事は他出不在なりし爲め目的を果さず且つは自ら搔き切れる咽喉の深手に漸く氣力衰へ附近の路次内に潛入し潛ひ居たり、一方急報に接したる警察署よりは署長以下時を移さず現場に急行し被害者に對する手當を施すと同時に犯人の

大搜查を 行ひ闇の中に潛伏し居たる盧を逮捕したる斯くの如き大慘劇を演じたる經緯は數日前附近の島田某方に於て釜一個を何者にか盜まれたる事あり盜難品に類似せる釜が今回の犯人たる盧方の店頭に在るを發見したる李刑事は目下其眞相の調査を爲しつゝあり此事を知れる盧は附近に居住せる今回の被害者等が

己を陷れ んとせしものと邪推し日頃快よからず思ひ居たる時偶々生活難等のため厭世自殺の決心をなし自殺に際し遂に叙上の兇暴を敢てせしものなりと言ふ



金谷園の燒跡（二十九日午前）

支那料理 金谷園燒失す
今曉三時五十分發火
原因は煙草の吸殼か
損害額約一萬五千圓

支那料理店として名高き長谷川町九十七番地金谷園は今朝三時五十分に火を失し同五時十分に全燒せり。發火の箇所は同園東南端の日本客室にして發火を見るや市内各消防隊及び本町署よりは小笠田署長以下殆ど總出にて消防に當りたるも何分にも未明の頃とて

水道給水迄に十數 分を費せし爲め火は忽ち同家を全燒し隣家なる黄金町一丁目百九十二番地北村誠一方に延燒し同家を半燒して鎭火せり。原因は目下取調中なるも發火の

客室には今朝三時 頃まで酒客ありたりと云へば多分煙草の吸殼より發火せしものなるべく損害は約一萬五千圓の見積りにして他に人畜の死傷なしと

全鮮の狂犬
九十一頭

總督府警務總監部衛生課の調査に依れば本年四月以降の全道に於ける狂犬の發生數は九十一頭に達し之を各地方別に見る時は京城三十五頭水原八頭晉州七頭馬山五頭光州五頭元山六頭沙里院四頭慶北安東四頭海州五頭平壤四頭新義州四頭全州四頭なり目下盛夏にして氣候の關係上一年中に於いて最も多く狂犬の發生する時季なれば大いに注意せざる可らず

博愛丸定員 關釜連絡

關釜連絡船中博愛丸の乘客定員は一等三十九人二等八十八人三等四百七十四人に改定したる由

合宮テシエー大佐より二十六日鳳山丸にて浦鹽に向ふべきチエック軍々需品に依頼し總督府は三角標傳導挾み等一切の用器を同地に差送りたりと

海陸檢疫 施行地
大體決定す

總督府警務總監部に於ては各地虎疫蔓延の狀況に鑑み之れが豫防に就き萬遺算なきを期し居れるが汽車及び旅客檢疫施行の場所に於ては差向き左の箇所に實施せらるべしと

▲京畿道 南大門驛、仁川港、驛、永登浦驛、水原驛、開城驛、龍山驛
▲忠清南道 大田驛
▲全羅北道 群山港、驛、裡里驛
▲全羅南道 木浦港、驛、麗水港、濟州島、海南、莞島
▲慶尚北道 大邱驛、鬱陵島、浦項港
▲慶尚南道 三千浦港、統營港、馬山港、驛、鎭海港、釜山港、驛、方魚津、巨濟島、長承浦
▲黄海道 黄州驛、兼二浦、驛
▲平安南道 平壤驛、鎭南浦港、驛
▲平安北道 新義州港、驛、龍岩浦港
▲江原道 鐵原驛
▲咸鏡南道 永興驛、元山港、驛、新浦港
▲咸鏡北道 清津港、驛、雄基港、城津港、魚大津港、會寧驛

慶大軍 對 全釜山軍 對抗野球試合

場所 釜山大正公園グラウンド
期日 七月三十日午後二時より

主催 京城日報社

無理心中を遂ぐ
楊口守備の歩兵上等兵
女は菊姬と名乘る妓生
上官には叱られ金には詰る
別れの辛さに此の始末？

朝鮮の未だ消えやらぬ曉の靜寂を破つて昨二十九日午前四時京畿道楊口邑飲食店玄氏方に時ならぬ銃聲高く響くかと思へば一發又一發續いて

悲鳴の 聞ゆるに人々何事ぞと驚き[illegible]彼女の室を蹴つて驅附くれば唐紅の血潮流れ漂ふ室內に折重なつて打倒れたる男女あり慘憺にも血に塗みれて打倒れたる男女を擾起せば男は同家へ繁々通ひ來る楊口守備の歩兵第五聯隊第十二中隊上等兵小原文造（二三）女は同家の抱妓[illegible]菊姬といふもの

菊姬事 呉史（三）にして四邊の模樣より推測するに男より無理心中を圖りたるものゝ如く小原文造は所持の歩兵銃を以て先づ一發の頭部貫通銃創に見事即死せしめ自らも頭部に貫通銃創を負ひ打倒れ居たるも介抱手當の結果生命には別條なからんと

原因は 取調中にて判明せざるも小原上等兵は身の放埒を上官に譴責せられたると遊蕩には金子の詰るが實らひ一つには守備兵交替の期迫りたる爲め本意なく別るゝ辛さに一層可愛き妓生呉史を道連れにせんものと淺間しくも思ひ詰めたる結果なるべしと（楊口電報）

慶應軍渡鮮
廿八日夜下關發

三十日午後二時釜山軍と試合す可き慶應野球部一行十四名は豫定の如く二十八日夜元氣旺盛にて渡鮮したり（下關特電）

京城の宿所 慶大野球

遠征軍の京城に於ける宿所は鐵道協會より交渉の結果龍山鐵道俱樂部に決定せり

本日温度（午後二時）
▽京城 攝氏九十二度（本社編輯局）
▽仁川 同 八十八度（本社支局）

▲新師團司令部の高級副官伊木少佐は先頃夫人を喪はれた佐田中尉以下第五十三聯隊在任當時の部下であつたので悲慣やる方なく早速林茂樹大隊長に一書を飛ばして曰く『支那語を能くし支那の事情に精通する者あればムザ〳〵國家の忠勇なる兵士を犬死させざるべし』と ▲同司令部附の宮崎少佐禪の聲を聽きながら勤務部の一室にカーキ色の軍服を撫でつゝ『之れに變つた時は面白かつた大阪に[illegible]』[illegible]

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 有樂 縮ズ 文藝映畫特選 七月廿四日より 米國エッサチャプリンの失戀全二巻 伊太利ケーザル會社大傑作 佛國西文家アレキサンダー・デューマ氏 心血を凝らした一代の傑作 **椿姬** 全六巻 [illegible] **振袖火事** 全六巻 [illegible] 二十五日より[illegible]

壽座 京城本町 電話五七八 當る七月廿九日午後七時より 旭扇會支部 筑前琵琶演奏會 ▲海島 ▲和氣の清麿 ▲大高源吾 ▲川中島 ▲蓬萊山（合奏） ▲菊の露 ▲實盛 ▲本能寺 ▲山中鹿之助 ▲橘旭翁師金婚祝歌 ▲會費金拾錢申受け候

大正館 黄金町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 當る七月廿五日より特別大興行 米國キーストン會社特作 大活劇 **雨中の逃走** 全二巻 ○正劇 **七眞珠** 全十二巻 [illegible] 新派悲劇 **かされ物語り** 全五巻 [illegible]

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇 ▲壽三番叟 ▲前狂言 ▲切狂言 男松竹梅 [illegible]

最新刊
朝鮮著黎明錄 [illegible] ▲西行 [illegible] ▲朝鮮金石總覽 [illegible]

梅毒全滅 **敗毒丸** 本舗 大連信濃町八十二番地 本田金生堂 各地到る處の藥店に販賣せり

御婦人方の大福音 子宮血の道に惱む御婦人は彼是と迷はず 回血湯を召上れ [illegible] 靈藥 血湯 回血丸

大阪屋號 [illegible]

不老藥湯本舗 京城府北米倉町一五七 [illegible]

美容術と毛はえ にきび [illegible] 毛生劑 脫毛 白色藥 發賣元東京神田駿河臺 日本化粧品株式會社 京東美容院

淺田飴 本舗 東京 大阪 堀內 たん・せき・ひき風 肺病の特藥

第五版

染料になる楓の葉（一）
（普通の楓と異なる點）
建興公司工場主任　小川義雄氏談

染料の原料たる楓葉は朝鮮に於ては主として平安南北兩道に產するものにして近來地方官憲の獎勵と建興公司染料工場の建設と買收方法とにより漸く其の採取量を增加するに到れり、楓葉採取が地方農家の副業として世上稀に見る好適業なる事は勿論なるも未だ多く一般產地に知悉せられざるの遺憾あり楓葉は自然生植物の生葉を採取するものなるを以て天與の產物なるが此天惠を無視して採取を敢てせざるが如きは國家的の損失なりと云はざるべからず

楓葉の概畧說明

單に楓葉と云へば俗に『もみじ』の葉と同一視する人あらんも染料の原料に使用する楓葉は楓の一種にして大體に於て普通の楓と相違する點は左の如し

（一）葉の形狀は他の楓の如く六裂又は五裂或は八裂することもなくして單に三分裂に過ぎず而かも其の中央の部分は著しく發達し中には一見して桐の如き葉をなしたるものあり

（二）生育地は大體に於て他の楓と同じく山腹の中腹以上に生育せず河川の岸、田畑の畔及び低地に最も多く生長す

（三）名稱は普通の楓に對し朝鮮人は『ヨンプン』と云ひ染料用のものに對しては『シデヤナム』又は『シダンナム』と稱す、中央試驗場に於てシンナムと稱するも道は多く鮮人の使用せざる名稱なり

楓葉染料の沿革

楓葉染料の沿革は頗る古くて古來朝鮮には此染料を以て華染に用ひ近年に至つて布帛の染色に盛に之を煎じ鐵と化合して黑色を呈したる時を見計らひ煮込み用ゐる事となりたるもの▲如し其方法たる到つて幼稚にして鍋釜は素より不良にし被染物の色澤を損し甚だしきに到つては色斑をなし[illegible]たるが如し其の成績は[illegible]其の用をなさざる事ありと云ふ、元來鮮人は白衣を常用する民なるを以て染色方法の幼稚なるは當然にして研究に力を致さざりしは楓葉染料の名をなさざりし一大原因と云ふ可し

支那人の應用法

然るに鴨綠江を隔てたる支那人は黑衣又は淺黃の衣類を常用する國民なるを以て地理的關係より何時しか楓葉染料の安價にして且つ實用的なる事を傳道的に知悉し、其の應用の範圍漸く擴大するに到りたり、支那人も又化學的研究の素質にこしきも唯應用の才を喚起してある程度迄の發達を見たり、既往十年[illegible]更も角朝鮮の楓葉染料が支那人に濫用せられたるは非啻なるのみならず最近數年間に於て大戰の結果染料の暴騰に伴ひ其の用途は非常に增進せられたり

植物染料の種類

今內地に於て植物を原料とするエキス染料は頗る多く約四五十種に達すべし、亦中央亞米利加に產する木樹にしてヘマティンと稱する色素を有するログウットもエキスに造られ、又地中海附近の產出にしてスマック又は佛國產のカテキュウ等も好んで市場に販賣し居れるも主として原料の儘輸移出せられたるの個々なきにあらざるも主としてエキスとして販賣せらるゝもの頗る多し、然るに原產は一來主として原料の儘輸移出せらるゝものなり（安東縣）

烏蘇里線と黑龍線
奉天通過の某武官語りて曰く

左に揭ぐるは歐洲西伯利各地を視察して奉天通過歸東したる某日本武官の談片なり（奉天）

交涉團體を定む

西伯利や東清鐵道の管理區域が限定された際日本では色々な議論が上下されたが要するに米國は西伯利の萬事が鐵道によりて解決さるべしと見て其管理區域決定には多大の注意と考慮とを拂つたらしく思はれる、從來の掛り上東清線は日本の管理に歸すべきであるが當局の[illegible]

問題に就て交涉團體を定むる必要あり扨てオムスク政府承認問題も目下行惱みである、元來オムスク政府は英國の後押しで今日に至つたのであるが如何なる譯か先般來戰線に派遣してあつた英兵を撤退して仲舞つただが日本としては是非此方面に一の有力なる交涉團體を承認して置かねばならぬ愛に出張次官の[illegible]察もあり歸京の上で何とかの策が立ちはせぬかと思はれる

南部線と烏蘇里

黑龍線が日本にはすべきであるが南部線は[illegible]來た南部から北部西伯利へと展せんとして居るを一寸眼せられた樣な形になつたので種々の論が行はれたのも無理ではない今回觀察すると烏蘇里線は東ら角と黑龍線は森林の豐富なる農作物の生育狀態及び市の[illegible]

交通狀態は何分

戰前に於ては諸般の設備が不[illegible]で大體口だつたが其後鐵道[illegible]に於て駐頓を行つてゐる……此頃日本兵が露人から親しまれてゐるのは實に喜ばしいことで盛んに各部落から五人でも十人でもよろしいから是非守備に來て吳れと申し込んで來る、依つて應じ難き場合には早速[illegible]

區域內に避難するさ云ふ有樣だから沿線に住民の多くなつたのは素晴らしい勢である。今回の旅行では各驛につく度に盛んな歡迎を受けたが特に氣の毒で且つ大變裟であつたのはルフローフ驛で何しろ避難した爲め折角の催し物の村芝居も夜の十二時頃まで[illegible]られた事だが見る事が出來なかつた、着いた時は早や夜も白々と明けかけて來たが

或富豪は驛に

待ち受けて是れからダンスをやるから見て吳れと云ふ有樣又出發する時は驛構內で會食をやると云ふ始末實に是れから見ても如何に露人が親賴してるかゞ判らだらうと思ふ、又オムスク政[illegible]

營口繁昌記
建物會社起らん

[illegible]影響を受けて沈滯に沈滯を極めし營口は平和後船舶の出入頻繁となり、每日七八隻より多い時には十一二隻の在港船を見るに至り料理店、料理屋着食料雜貨商、何の[illegible]繁盛の模様にて[illegible]十月の運賃改正を見越し入り込める人々も相當なる[illegible]に到る所に廣告を[illegible]家札は一も見ない[illegible]

家屋の不足

[illegible]支那町方面にも[illegible]門店を出す計畫者あるを聞く、[illegible]築しつゝありと、建築として未だ何等目にふれず唯目下[illegible]せんとしつゝあるは[illegible]の停車場舍十棟許りなり、土地として[illegible]有の土地は悉く貸付けられ尺地もなく明年度に於ては建物會社等起らんことを豫想され[illegible]

沙里院の近狀
黃州……俄に發展す

沙里院

輕鐵の起點となる

輕鐵問題を初め[illegible]驛設問題にて人氣頓に上り市場股賑を極め居れり[illegible]間題も愈々決定既に其筋より加入者申込數の調査もありたれば之れが開設も遠からざる[illegible]は未だそれ程迄に進捗し居らざるも近く某專門家の來院と共に發起人會を開き具體的の協議を開かるべき豫定なりと目下[illegible]の加入申込數千五百擔に達し且

大連近事

大豆混合保管

大連埠頭大豆混合保管問題に就ては滿鐵及び當業者等に於て種々研究されあり少くとも本年一杯には實施の運びになるべしとの事なるが之れに就き差向き必要を惑やべきは麻袋にて之が供給に就ては滿鐵自身の手に於てなすべきか又は普通會社の供給に待つべきか未だ決せざるが如し之に關聯し近年滿洲に於ける麻袋輸入の狀況を見るに大正五年度一千五百五十五萬四千二百八十九枚六年度二千百四十七萬八千二百七十八枚七年度一千四百四十五萬二千枚にて此等は主に印度產にして滿洲に於て製造し供給し得る能力は一年漸く百萬枚內外に過ぎずして大部分は輸入に據れる次第にて且つ今後滿洲產物の產額は益々增加の趨きに在り隨つて麻袋の需用も之に伴ふべく加ふるに今回の大豆混[illegible]

荷役と諸懸費

[illegible]大連埠頭に於ける荷役現在の[illegible]は戰前の[illegible]

米價は

最近の市場にて稍弱含み模様なるが何分其の朝鮮外其地方からも入荷多く[illegible]つて同地は米の集散地として勢力の商給み依つて必ずや精米業者の[illegible]米價は雨後の筍より尙多からんとは某通の話なり

四十錢乃至稱へ前同の市日に比し四錢安み稱へ居れり

近來の旱魃により一般農作物枯死するものありと聞くも本年麥作は打擊少からず平均約二割位の收はその當時降雨の爲め多少不減の狀態にして昨年に比し一乃至二割の減收なりしと

一般衛生

狀態につき聞くに目下の所極めて良好にして過般二、三の腸チブス患者を出したるのみなりされど蚊の發生多き爲めマラリヤ病の罹病者多きを占むは遺憾なれとは當局の談にて聞く、旱魃による打擊は啻に農作物のみならずその餘波飲料水にも及ぼし稍困憊の狀あるやに聞けり

黃州

元來內鮮人共資本家の所在地にて商況極めて沈靜なれ共一般景氣は不良ならず米價は最近の市日に於て四十六七錢を稱へたりと云へば沙里院よりも高きこと四五錢一般物價も元より之に伴なふて高價を告げ居れり時節柄も果物の時期にて此の種の物價は幾移出の爲め殊更好況を呈し居れり。

南浦米商奮起
廉賣の模範

鎭南浦米穀輸出業者等は鎭南浦府廳に於て協議會を開催し米價問題を協議し同業者と共に米價問題を協議し此際進んで各自犧牲となり南浦米價の安定を計るのみならず其他各地の同業者の模範たらんとし種々米價如何に躊躇を示すも如何なる事情あるも一石四十五圓以下の價格にて賣り捌く事に決定し昨日より實行し各小賣商にも去る二十五日より斷然之れを實行せしむる事にしたり

[illegible]も之等の[illegible]商人の[illegible]に於て[illegible]

방과조개　貝
最も美味なる

忠清南道庇護郡口に於て每年夏期に入ればバングエチヨケ貝と稱する美味の貝を採取し得るより本年も去る十五日より附近の朝鮮人が之を採取せんとする者一日約五百餘名に達し一人一日に一斗乃至二斗位を採取し之を市場に販賣するに一斗一圓五十錢位に販賣し居りて採取人は相當の日收ありと（平壤）

專賣特許　ケイフ　一名ガラスふきん

在來の硝子ふきんの如く何の手數も要せず手を汚す事なく水で一寸拭けていてきれいになり便利なガラスふきんは又西洋銀器などの曇り汚れなども取る二最も妙なり是非一度御試し願ひます

見本一枚二十五錢送料二錢

京城太平通り　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話長六〇〇番

避暑地投票用紙

道名	地名

京城日報社

商況

株式

東京株式　至急電報
休會

大阪株式　至急電報
休會

京城現株　標準値段

銘柄	拂込（▲印賣買）	時價（▲印下落）
仁取	二五、〇〇	一五〇、〇〇
鮮銀	三〇、〇〇	七九、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇
皮革	二〇、〇〇	二七、〇〇
東畜	一二、五〇	▲一六、五〇
朝紡	一二、五〇	二四、〇〇
朝新	一二、五〇	二二、五〇
商銀	一五、〇〇	六二、五〇
朝毛	一二、五〇	三四、〇〇
鮮煙	二〇、〇〇	二四、〇〇
仁倉	（權利）	八〇、〇〇

株式不振理由

內地株式市場は最近活氣乏しく一時の如く何人も戰後の大相場出現すべしと豫想されたる當時の活躍振は見るべからざる株式市場は一時的に沈滯したる觀ありて[illegible]に對しては戰時中の株式熱は[illegible]して觀測されたる形勢[illegible]が著しく[illegible]

[illegible]有力なる[illegible]又は高值の永續せざる根本原因を[illegible]せるに似たり

大阪竹原商店特約　公債株式現物賣買　新田耕市商店　京城櫻井町一丁目　電一八八一・三五〇

砂糖小反撥

頃來崩落又崩落にて本月に入り昂げたるだけは數日中に落したる砂糖株は有望に投物も一巡して落付きて二十六日東京に於ては十圓內外の引返しとなりたるは一時的の落付きか但しは問題の果して下止りか[illegible]

郵船は買過か

本株に對しては航運界の關ミ運賃高の如きを傳へて何人も込みたる反動として頃來三百圓相場を見せたるが然れども此株に三百圓場を買ふべき材料あらず運賃問題の如き米國が官船を民間拂下げを爲さば茲に新船は遲れて英國本株に對しても航海界の競爭時代にも入るべきを以て[illegible]

仁川株界

仁川取引新株は一向活氣を振はぬことは云へ百五十圓臺は相當の買ひ方が潛在せる模樣で下盛り此後持合ひの光景なるが此持合破壞後の變動は望み難からん此の頃鐵銀株は兆に好景氣を賣りに大なる變動せられる虞なれば其迄は一般先日十圓の拂込を了したりとは云へ本日大株主たる廣瀨氏に買ひ注文の電報に依れば八十圓迄も買ひ望みの趨勢を示したるが殖銀株の成金たる廣瀨氏は容易に賣向を示し反つて買物は更に商內出來ざる有樣なるか如し

大正炭好人氣

[illegible]理的の燃料として時節柄各方面の人氣を集めつゝあり、此の外新式化學を應用して煉炭製造をも爲し之れを支那朝鮮其の他へ輸出する計畫なれば優に四割以上の株主配當は爲し得べしと稱せらる

仁取落付く

仁取株の化形として全鮮の人氣の背負ひたる爲め昨今取株が銀行金融手控への爲めたる事[illegible]外の人氣を呼びたる向の投げ物出で

其の後東亞の公募も締切りとなりし別に新たに投資する爲め此の利益を得ん者も四十八九圓處[illegible]して藻割れ値段の商談皆無となり安値押込み筋[illegible]

東洋畜產昂騰

東拓の東洋畜產株は[illegible]

木津川權利高

[illegible]

本日の商內株

[illegible]

北濱だより

[illegible]

米況

東京期米特電

二十九日前場
當限寄付　四十一圓三十錢
中限寄付
先限寄付　三十八圓五十錢
廿九日前場
寄付
高値
安値
止め　三七、六九

大阪期米特電

二十九日前場
寄付　四十二圓六十錢
中限寄付
寄付
二十九日前場
高値　三十九圓三十九錢
安値
止め

神戶期米特電

二十九日前場
寄付　三七、三六
高値
安値
止め

下關期米特電

廿八日前場
	當限	中限	先限
寄付	三六、九〇	三六、五〇	三七、四〇
高値	三六、九〇	三六、六〇	三七、四〇
安値	三六、九〇	三六、〇〇	三七、三〇
止め	三六、九〇	三六、八〇	三七、二五

仁川期米

二十九日前場强硬

今朝天候は西風にて早朝より晴れ渡り愈々雨不足の前兆を示したる折柄阪地入電米著なるも正米高の影響もあり前場寄付の商內模樣は人氣强硬に立會は中限四十一圓三十五錢さ氣丈に始め先物買氣旺盛に十二錢高に寄付き四十一圓四十錢二十四丁高に寄り折柄も押目買出で旣に買物[illegible]

市場雜觀

期米界は漸く天災期丈けに波瀾重疊を極め當地は二三百丁の亂高下を繰返して市場の人氣を驚かして居るが今回內地の無理な問題を材料に弱氣は猛烈に賣り崩して三十九圓臺に追込みしが昨日後場は又復四十一圓三十錢とした反撥を演じて來た此の調子から思考すれば先日の高値は天井とも思はれぬが値頃觀や四圍の事情から推せば賣れない米でもない今回の米無賃の效果は如何なる事實を示すであらうか內地商人の鮮米買見送り姿の折鮮米市場の活氣乏しきは其影響に外ならぬので一面期米は益々漸騰を迫らんとして居るとは云へ容易なる氣に惱れて買り募ひの形勢を示して居る併し內地は期近高牽制筋は一般四十一圓臺は値頃や眼前の商內の僞受渡の疑ひはないが當市場は當限に過ぎないが[illegible]

二十九日前場强硬

仁川正米市場　[illegible]

◎公定値段
	寄付	高値	安値	止め
一節	四十一圓五十六錢	四十一圓五十六錢	四十一圓四十六錢	四十一圓
二節	四十一圓五十三錢			
三節	四十一圓五十二錢			
四節	四十一圓四十九錢			
五節	四十一圓五十二錢			

◎出來高　十九萬六千百石
帳入値段　中限四十一圓三十三錢　先限四十一圓三十四錢

京城正米市場

賣惜みを固執し來りし地方持米主も內地正米の暴落と値頃乃至時期の關係上多少賣催ふしの氣分仄めきたるも各地の雨量不足に旱魃懸念を强めつゝある折柄內地期正米共に反撥を移せる等にて再び賣氣を緩へし又茲にも增して賣惜ぶりの態度を取り來れるもの▲如く今朝は各賣人を通じて鼻息頗る强く地揩神力上米三十九圓の買聲に對して賣人は三十九圓五十錢とか四十圓とかの高値を吹き掛け容易に居れる有樣にて殆ど手出しの餘地なきが如く自然商內も皆無の姿を呈せるが眼先の成行きは內地の如何よりも天候に待つもの多く此處適度の降雨を得んか根が崩しの滑める丈けに人氣の崩れは案外脆ろかるべきも反對に旱天打續かんか古米作物上最も旱魃に恐れを抱ける鮮地の事なれば其人氣作用は又意外の邊に及ぶべし

白米引締模樣

昨二十八日の內地正米は東京九十錢大阪四十錢神戶三十高入

天候懸念賣警戒

[illegible]內地高と正米の引締まりと人氣賣扁顚の折柄丈けに崩れ物高み

仁川正米市場

期正米の反撥を移して又復買氣を帶び今朝は內地注文も弗々入込みの形勢にて平壤三等神力上物四十一圓三十錢▲揩玄米四十圓當を高唱へ手持筋は容易に賣急がす買方もそれ以上の高値は無價間の事情より內地商[illegible]

南大門廻穀

平壤碎米四五叺四平街粟四〇袋島致院小麥六三叺平壤玄米三三叺島山白米六七叺西井里玄米四二叺鐵原粟二〇袋平澤中白三三叺水原白米四七六叺島山中白二三三叺

河筋糀出廻杜絕

本初旬來晴天打續き去る二十日の驟雨も全羅南北道と慶尙道の局部を潤ほせしのみにて其他の地方は概して眞の撒雨を蒙むりしに過ぎざりし爲め田地畑地り水量涸渇に瀕し旱魃の肆漸く高く漢江の如き水量漸次減退して昨今上流地方よりの舟下殆ど杜絕の狀態となり從つて糀の廻著激減を示し產地高唱への結果は茲許正米との採算不引合ひに陷り荷主の呼値は改良種十一錢五厘在來種十一錢見當の高値にて眼先頗る强調なり

雜穀相場

鮮米の緩和策として盛んに輸入を促進されつゝある滿洲粟も產地の引締りと米價の暴騰に牽制されて一圓五十錢方暴騰し一袋十六圓見當を唱へ各地より買注文輻輳の商勢なるが穀いては大豆も白川物十七圓七十錢龍山十八圓見當を唱へ大麥は十一圓五十錢小麥二十圓五十錢の何れも高唱へなるが如し

各地米況電報

◆各地正米相場（二十八日）
釜山三等正米　四十圓五十錢
仁川同　四十一圓五十一錢（氣配强し）
群山同　四十一圓八十錢（保合）
大阪に於ける群山三等正米四十四圓八十錢

三品

粗布現物ヂリ高

粗布現物は買氣依然衰ろへず現在の品薄と前途の賣行き好況を見越し續いてヂリ々々高値を買狙らはれ本日は三エーの四百八十圓に引締め十六磅又四百十圓ご上足を辿り先物は二十圓六七十錢を氣丈持合こいふ振合ひなるが晒物は在荷の潤澤ご氣乘り薄に兎角人氣に添はず細布現物二十七圓七十五錢銅雀臺三十圓六十錢唱へを無活氣に推移しつゝあり

雜報

洋釘阪地高氣丈

洋釘は近來海外輸出好調にて內地製釘所の態度頗る强く阪地氣配も之に連れて最近約一圓方の引締めを傳へ茲許又氣丈の振合ひありご雖待品の關係上未だ相場を引締むる迄に至らず

資本金壹千萬圓

年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般商業金融業務を取扱申候

京城南大門通一丁目
株式會社　朝鮮殖產銀行
頭取　三島太郎
電話長一〇一四番　營業振替貯金口座四〇九番　道金庫振替貯金口座特二三番

支店　平壤、鎭南浦、新義州、海州、沙里院、元山、咸興、北靑、淸津、鏡城、城津、江景、全州、群山、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、順天、大邱、慶州、晉州、馬山、統營、釜山、公州、忠州、淸州、鳥致院、大田、論山、江界、春川、鐵原、義州
右の外內地朝鮮滿洲支那各地に爲替取引先有之候

日鮮入 文官普通　判任見習　巡査　試驗問題集

本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試者をして試驗の概況及程度を知らしめ必勝の幸運を與へんと欲して編纂せるもの應試者諸氏の此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所勘少にあらざるべしと信ず

菊半形紙數二百二十頁◆定價金五十錢◆送料四錢

法制研究會編　發行所　京城本町　振京一一一參　ウツボヤ

賣捌元　京城大平通　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

內科　小兒科　ヂアテルミー科　入院　隨意

中島醫院（喉頭科）

京城府明治町二丁目（本町江戶川横より入る）電話二七八番

院主　中島貞吉

色黑くなる時は今！
日焦する時は今！
一滴で…これを防ぐ

美乳の力

夏の日光は美容の大敵！

御用心遊ばせ色黑くなる時は今です御注意遊ばせ日焦する時は今です、こいつて必ずしも御心配になる事はありません日本に初めて出來た評判の美乳を常用してゐらつしやれば美容の大敵たる夏の日光を受けましても例へば海水浴にお入來になりましても其生地から色を白くする力、皮膚を美しくする力は克く夏の日光の紫外線を擊退して日焦を完全に防ぐことが出來ますそれですから近來は如何なる階級如何なる御年齡の婦人でも必ず美乳をお盤けです……

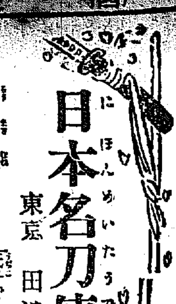
本舖　大阪白粉本店　矢野芳香園

內科　小兒科　入院隨意

森病院

京城明治町二丁目江戶川横（電話六二三番）

醫學士　森定吉



日本名刀傳 百十六

東京 田邊南龍講演

五郎正宗(四十六)

村『お名前はあこの茶店の婆さんに聞きました、申し後れたが私は相模國鎌倉雪の下の五郎正宗の弟子で今では仔細あつて師匠とは赤の他人、喜左衛門村正と云ふ者でございます』助『左様でございますか、全く不思議な所でお目にかゝりました、お名前は疾て伺つて居ります、日本一の正宗先生の許で御修業なされた嚴しいお方とも存ぜず失禮致しました』村『其様な御叮嚀な御會釋では恐れ入ります、實は途中で越川の先に嚴い親子の刀鍛冶がお出でだと聞いて伺ふ積りでやつて來ますと、茶店の婆さん

から貴方の御噂を承つてお若いのに感心致しさう云ふ方なら猶更お目に掛つて行きたいと存じて居つたのです、不思議の御縁で妙な所でお目にかゝりましたして死なうと迄決心なすつた其事情は……』助『へーお聽きなすつて下さいまし、此の先に多賀明神と云ふのがございまして、毎年お祭禮があり其節は刀を鍛つて奉納する例になつて居りますので、當國から十里若くは二十里四方に住んで居る鍛冶職で腕の勝れて居る者は、皆一振づゝ鍛へて納めます、所が私の親父は和泉國から出て參つたもので二三度刀を納めましたがもう年も老りまするし、私も三十一になりましたが、親父の代りに鍛ねまして十六の時から御奉納を始めましたが、殘念ながら毎年〳〵納めた物も納めた物も額堂に上らず、皆雜刀の中へ交つてしまいます、多賀明神の氏子でありながら五度迄も額堂に納まらないとは何と云ふ意氣地の無い事と我身ながら愛想が盡きまして、承はれば正宗先生は十五十六の時にはもう立派な刀鍛冶におなりになり、二十一の時には禁裏御番鍛冶におなりなされたと云ふこと、同じ人間でありながらどうしてさう違ひがあることかと、さう考へますと殆ど生きて居る甲斐がございませんので兩親や近所の人に面目なく夫故死ぬ氣になりました』村『夫れしきの事で死なうとは狹い了簡、其樣な事なら私も刀鍛冶だ、腕に少しは覺えもある、ぢやア今年は私がお前さんに腕を貸して上げやう』助『有難う存じます、ではまア私の宅へお出でを願ひます、汚穢しうはございますが……』村『では兎に角さうしませう』さうして途々話をしながら往くこゝにしては……助『ではさう願ひます』と助正は立上つて漸く自分の家へ案內します 村『所で毎年何樣な人が第一番になるんです』助『それは京都油小路に住んでお出でになる藤兵衛尉國重と云ふ方が茲三年許りは第一番で二番三番迄は額堂に納まりますが、其の三番にさへ這入られぬとありましては土地に居るだけに辛いのでございます』村『ウム成る程そりやア尤もです、其の藤兵衛尉國重と云ふは矢張鎌倉へ來て正宗先生の門に學んだこともあるさうだ』助『成る程それでは第一番になるのも尤もの話でございます、それに今年は備前長船の乘光先生が鑑定をなさるさうで何更以て諸方の刀鍛冶が腕を揃つて奉納致すと云ふ事を聞きまして、益々私は心配して居ります』村『それは容易ならぬことだ、乘光も正宗先生の門弟、失禮だがお前さんがこの位の腕か知らぬが、乘光の鑑定を受けて國重を向ふへ廻して敵にしやうと云ふのは仲々のことだ、宜しい、今年は私が陰になつて一つ腕を貸して上げやう』

咸南共進會(續)

咸南物産共進會事務章程

第九條 第三條第八號但書に依り賣約の申込人に代金又は證據金の返濟を要するときは賣渡し約定證書引替に現金を交付すべし

第十條 賣約主務は賣約計算書及び賣約取消調書を調製し大正九年五月三十一日迄に出品係長及び用度係長に送付すべし

第十一條 用度係長及び賣約主務は賣約品の取扱に係る現金の出納保管に關し一切の責に任ず

出品物點數表

部類	品名	點數
第一部	(農業)	
第一類	玄米、精米	四一〇
第二類	大麥、小麥、裸麥	二三〇
第三類	大豆、小豆、菜豆、綠豆、豌豆	七二〇
第四類	粟、稗、黍、蜀黍、玉蜀黍、燕麥、蕎麥	七〇〇
第五類	大麻、麻糸、楮、荏胡、麻、莞草、芦草、杞柳	四四〇
第六類	葉煙草、藥草	一三五
第七類	果實、種子、苗	二五〇

七月卅一日

(舊)七月五日 木曜日 ▲きのとさる ▲七赤 ▲暗劒西 ▲大安 ▲蚕のぞく ▲十方暮

▼七赤▲あせると惡き事あらん
▼八白▲迷ひの雲の霽るゝ日なれば、此の機を外さず進むべし
▼九紫▲心を落付て掛る可き日
▼一白▲內輪の整理に注意せよ
▼二黑▲中々盛なる日なれども心中に驕慢起らば吉運を逸すべし
▼三碧▲心に苦勞あらば信ずべき人と相談せば案外旨く行く日
▼四綠▲心配事の多き日なれども心正しければ意外に纏りのつく日
▼五黃▲思はぬ幸ひに遭遇のふやも知れぬ日但酒色を誡むべし
▼六白▲得て迷ひの起り易き日

八月一日

(舊)七月六日 金曜日 ▲きのとゐ ▲六白 ▲暗劒いぬゐ(西北) ▲赤 ▲妻 ▲みつ 瑞西國祭日

▼六白▲用心に用心を重ぬる日
▼七赤▲物事のスラ〳〵と行く日にて萬事に用ゐて事の成る日
▼八白▲融通の利く日にて愉快に仕事の好く捗る日なるべし
▼九紫▲思ひの儘物事の行く日なれど驕慢なれば凡て調ひ難し
▼一白▲願つたり叶つたりの好き事ある日起業移轉旅行其他吉
▼二黑▲器量の上る結構なる日なれど圖に乘りて妄進せば不可
▼三碧▲物事粗漏に流れ易き日
▼四綠▲耐へれば耐へ德の日也
▼五黃▲進んで吉なれど機み過ぎて妄進せば却つて吉運を逸せん

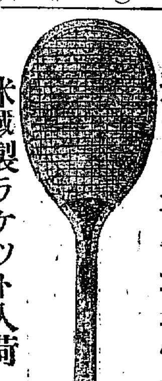
車隊鐵道拂下品 其他諸官衙拂下品一式

新古夏服 事務服 工場服 其他 新古和服 夏物 格安品 種々 右多少に不拘御用命被下度願上候

和洋衣服商 金子奥市商店 京城府龍山元町二丁目 電話龍山長五〇五番 振替口座三八一三番

運動具全部荷揃

米國製ラケット入荷



京城本町 篠崎運動具店

和洋金物一式

株式會社 碌々商會朝鮮特約店 京城本町三丁目 佐藤半次郎商店 電話二四三番 電略(サト) 振替口座京城一〇番

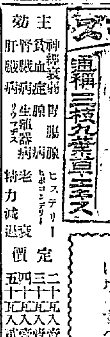
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造

宮內省御用達

サクラ正宗

櫻正宗櫻魂發賣元 山邑京城支店 京城府黃金町二丁目 電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五番

浸蒙養生丹 人參三燈丸強壯劑 通稱三蓋丸葉草三燈丸



一、思考判斷及び記憶力を増し 二、腦計算の疲勞を癒し 三、筋骨の疼痛を治し 四、病後の衰弱に良く 五、血の道症に良く 六、貧血虛弱を療し 七、手足冷え腰の冷ゆるに良し 八、陰痿遺精及子宮病に良し

主効 神經衰弱 貧血症 腎臟病 肝臟病 胃腸病 腺病 生殖器病 リウマチス ヒステリー 老衰 精力減退

本劑の服用に依りて貴下の精力は愈旺盛となり活動の能力は頓に增すべし

定價 二十九入 三十入 四十入 五十入 [illegible]

京城特約店 北 山 岸 天 佑 堂 支 店 / 全國一手販賣 代理部 [illegible]

資本金 四千萬圓
拂込濟資本金 參千萬圓
積立金 四百貳拾壹萬八千圓

朝鮮銀行

總裁 美濃部俊吉

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店出張所及派出所
內地 東京 大阪 神戸 下關
朝鮮 釜山 大邱 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦
滿洲 大連 旅順 營口 遼陽 奉天 奉天新市街 鐵嶺 開原 四平街 鄭家屯 長春 吉林 安東縣 龍井村 哈爾賓 傅家甸 齊々哈爾 滿洲里
支那 上海 青島 天津 濟南
露領 浦潮斯德(松田銀行部)
(貨幣交換所) 齊多 ブラゴウエシチエンスク ハバロフスク
右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginseng Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

最近科學的研究を經て卓効を認められたる人參を特殊の操作に依り芳醇無比の葡萄酒に配合したる

◎ミツワ人參葡萄酒

模範強壯料

風味高潔 滋味和淡 營養豐富 元氣增進 興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絶なる人參を周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして濃爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し元氣を增進せしめ榮養の佳良並に身體の強壯を齎し、精神の爽快並に筋骨の疲勞を除き常に健否に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり。本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したるか或は諸種の清涼飲料を以て希釋するも可なり

▼如斯人は強壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一 元氣を盛んにしたい人
一 精神を爽快にしたい人
一 體力を增したい人
一 身體を強壯にしたい人
一 元氣良く活動したい人
一 延年長壽を願ふ人
一 病苦不快な感覺を忘れたい人
一 精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一 產後や病後の衰弱を速かに回復したい人
一 食餌を進ませたい人
一 消化を良くしたい人
一 榮養を良くしたい人
一 精力が減り元氣の無い人
一 勉強又は勞働して疲れた人
一 生來虛弱な人
一 身體の痩削けて居る人
一 貧血して居る人
一 顏の色が蒼褪め元氣が無い人
一 手足や腰が冷て寢つかれぬ人
一 些細の事を氣にかける人
一 悲しい事も無いに泣きたい人
一 悲觀して厭世的になる人
一 精神鬱々とする人
一 時々氣を失ふ人
一 肺結核や腸結核其の他結核性の病で發熱の永く續いて居る人
一 神經衰弱に罹つて居る人
一 陰萎遺精など生殖器神經衰弱に惱んで居る人

定價 [illegible]

東京市日本橋區橘町四丁目 振替東京七一〇一番 丸見屋商店 電話長浪花特三〇四〇・三〇〇〇・四五〇・四九四〇番

▲有効確實ニシテ賞讃ヲ博セル マラリア特効丸

定價 金拾錢 貳拾錢 參拾錢 五拾錢 壹圓 郵稅金貳錢

販賣店 各地有名藥店

龍山元町二丁目 本舖 林藥房

代理店 京城本町一丁目 山岸天佑堂
代理店 釜山辨天町 大黑南海堂
代理店 平壤大和町 森田草藥堂

味噌の横綱 ほまれ味噌

姉妹仲善く

お髪上にはついもホーカー美髮液 見違へるほど黑髮の房々した美しさ

濡羽色の黑髮となる

ホーカー美髮液

逆上を引下げ惡臭を消す

東京大阪京都の髮結さんが皆な褒めて使はれます

▲クセ毛チヂレ毛を直し ▲漆の如き黑髮となる ▲生際を好し髮脫を止む ▲房々さして枯毛を去る ▲フケを去り脫毛を防ぐ ▲香水以上の匂ひがする

▲全國到る處の小間物化粧品店藥店等に販賣す品切の節は直接本舖に御注文あれ代用郵券又は切手代用は小二十五錢大四十錢

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液本舖 ホーカーパット

東京市神田和泉橋際 堀越嘉太郎商店 電話浪花長二四三・二四〇・三五六 振替口座東京一一五六

宮內省御用

水道 布設 煖房 裝置 衛生 設備 [illegible] 喞筒 据付 工事 設計 請負 附屬 材料 輸入 製作 販賣

TRADEMARK

須賀商會大連出張所 大連市監部通二丁目(露亞銀行前)

本店(大阪) 支店(東京) 出張所(京都・名古屋・京城・神戸・北京・青島・博多・住吉) 工作所……東京・大阪・神戸

大口歡迎 田村質店 資金町長橋入口 電話二九一一六番 商品擔保取扱便利

大阪商船出帆

(仁川出帆)
▲大阪行 和泉丸 七月卅一日正午出
▲大連、天津行 大連丸 七月 日正午出
△大連、大阪行 蘭州丸 七月 日正午出
△郡山、安東 丸 七月 日正午出
(元山出帆)
浦潮行 須磨丸 七月廿八日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 須磨丸 八月三日後九時出
(大連出帆)
上海、基隆、打狗行 湖北丸 七月卅一日後六時出
內地各港出帆大要路
歐洲行 一年四回北米行毎月一回
南米行 一年四回孟買行毎月一回
濠洲行 毎月一回南洋行毎月一回

御注意 乘船切符は出帆の時刻迄に御求め乘船の時は◎印の寫眞付切符を御所持ありて出帆二時間前に御乘船あれ

大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇番・五〇番
京城 京城本町一丁目 代理店 電話四六番
仁川 仁川港町 支店 電話二七番
專屬倉庫 [illegible]

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 浦潮、城津、元山經由 平安丸 八月一日 七月三日 清津 元山發
▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由 忠清丸 七月三十一日 八月一日 釜山 元山發
▲雄基行 關門發釜山各港經由 平壤丸 七月三十日 八月二日 釜山 元山發 / 咸鏡丸 八月四日 八月七日 釜山 元山發
▲元山雄基線 雄基間往復 元山起點各港經由 鏡城丸 七月廿七日 元山發
▲大阪行 釜山、關門、神戸經由 清津、城津、元山 忠清丸 七月十九日 七月十一日 元山 釜山發
▲關門行 各港經由 雄基發、清津、城津、元山 京畿丸 七月卅一日 八月三日 元山 釜山發 / 雄基丸 八月五日 八月八日 元山 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭行 月六回但自六月至十月 三浦丸 七月廿九日 元山發
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由 盈德丸 八月三日 釜山發
▲濟州島行 釜山發木浦 釜山浦項間直通毎日一回 宗信丸◎慶尙丸
▲濟州島行 昌平丸 八月二日 釜山發
▲東廻 西廻 由西歸浦、木浦 慶興丸 八月五日 公州丸 七月廿九日 木浦發
▲釜山鬱陵島 釜山、群山 水相互ヨリ毎日一回出發
▲木浦群山線 木浦群山 順天丸 七月廿七日 木浦發
▲多島海行 木浦發多島海各島行 慶興丸 八月一日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由 江田島丸 八月一日 仁川發
▲海州行 ◎全州丸 ◎南陽丸 仁川海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由 晉州丸 八月三日 仁川發
▲大連青島行 仁川發芝罘經由 江原丸 七月三十日 仁川發
○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡アリ
本社 京城南大門通 (電話長三三一三)
釜山 釜山佐藤町 支店
元山 元山海岸通 出張所
仁川 仁川代理店 堀回漕部
木浦 木浦代理店 山野回漕部
京城 京城南大門驛前 荷客取扱店 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一七〇

共同汽船出帆(仁川)

阿波 ▲大連直行 第二共同丸 七月廿五日午後入港 七月廿七日正午出帆
▲青島直行 第十一共同丸 七月 日午前入港 七月 日午前出帆
▲秦皇島行 第六共同丸 七月 日正午出帆
第十三共同丸 七月 日午後入港
朝鮮鐵道主要驛に於て荷客連絡運輸取扱大連にて青島行定期船接續荷客共通
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目電話一七三番
仁川代理店 濱田町 野口商會
元山代理店 田口回漕部 電話二四七番
京城取次店 南大門通 河村運送店 電話二七六〇・八二一

尼崎汽船出帆(仁川)

群山木浦下ノ關大阪行
△赤心丸 七月 日後四時出
△一代丸 七月 日後四時出
△神吉丸 七月廿五日後四時出
△秀有丸 七月廿八日後四時出
△君が代丸 七月 日後四時出
△大 丸 七月 日後四時出
○印船客御斷
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部 電話五九番

互光商會汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、清津行 第三宮城丸 七月 日釜山發 七月 日元山發
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三宮城丸 七月 日元山發 七月 日釜山發
釜山 大池回漕部 元山 田口回漕店 (電話二二)

日本郵船出帆(仁川)

大連、天津、牛莊行 濟州丸 七月 日正午出帆 高砂丸 七月 日正午出帆 相模丸 七月 日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕店

京城日報
第五版
THE KEIJO NIPPO
大正八年七月三十日　(水曜日)　第四千二百五十一號　(一)
(年中無休刊)
本紙一部參錢　壹箇月七十五錢……
發行兼編輯人　奥田直　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號……　振替京城三〇〇番

市中金利暴騰　市中金融の成行を示し一流手形の割引なりしが今回直出……

米椰子油暴騰　歐洲大方騰騰し豆油より高値となれる爲先頭高値を代表せし四十八……

ヴェルサイユ平和條件授受(六)

五月八日在巴里　本社特約員　上田碩三

◎斯くてランツァウの演説の終れるは恰も午後三時五十五分、其の要せる時間は英佛の通譯を合せて三十五分、必ずしも長廣舌と云ふ可らざるも僅に數語を以て辭退かるべしと豫測されたる今日此際の演説としては意外に長きを感ぜられたり、ヘッドテーブルの面々は其の演説の後半に對しては稍冷淡の氣を帶せるもの、如くクレマンソー氏の緊張せる顏色も漸く緩んで冷笑の色現はれ、ロイド、ヂョージ氏亦屢々冷笑を洩らせるがウィルソン大統領は遙に其の名を指され其の十四箇條を云爲されたる時は一層の熱心を以て之に耳を傾けたり、ヘッドテーブル中唯一の好々爺然たるバルフォア氏に至つては悒迫悠々の態度を發揮し欠伸を發すること前後二回

◎ランツァウの演説及び英譯終るや議長は『其他言ふべきことなきか』と質し、ランツァウは之に對し佛語を以て『無し』と答ふ。是に於て議長は散會を宣し獨逸全權一行は先づ佛國將校の先導にて場を去る。此時ランツァウの顏色は尚青白色を呈せるも態度は入場の時に比し頗る落ち付きたり。獨逸全權の去りし後約三分間ばかり聯合側全權は申合せたるが如く皆其の席に殘りて獨逸全權に對する批評を盛にし就中ランツァウの演説の内容及び彼が坐したるまゝの演説振りは批評の中心たるもの、如くなりき、驄て四時五分所謂四强國會議は別室に於て開かれ其の他の全權は皆佛國軍隊の嚴肅なる捧銃とヴェルサイユ市民が搭列して歡呼する聲に送られつゝ自動車の勇ましく巴里へ急ぐ記者も亦群集の歡呼を浴びつゝ巴里のホテルに歸る、時に午後五時半

◎此日例のウィルソン大統領夫人が又しても議場參觀の沙汰はれるが新聞記者をさへ四十五人に制限し各國全權以外一二書記官の外絶對に入場を制限されたる程なれば、遂に沙汰止みとなれるものと見へ遂に其の姿を見せず、場内唯一の婦人はタイピストにして英佛獨の三國語を自由に速記し得るこの評判高き佛國婦人一人なりき、抑も新聞記者の入場に就ては當初議容易に纏まらざりしが、英國記者團の猛烈なる抗議あり、旁ウィルソン大統領の斡旋にて遂に四十五人の入場となれるがウ氏の理想主義も斯る場合吾人に取りては寔に好都合なり、獨逸新聞記者中には戰前伯林ターゲブラットの巴里通信員として鋭利きの評判高かりしバウル、ブロックもあり之を聞けるが此日午後二時四十分頃右五名の記者は裏口より入場せしめらるべく佛國陸軍少佐の引率の下に來れるが時間尚早しとて『廻れ右』して彼方の木蔭に引率され行きたるが皆疲……

……形の神經質を帶びて後姿いさゝか淋しく同業の誼みは自ら一片の同情を禁ぜざりき

明治天皇御肖像

物價前途如何(三)

英國のスタチスト誌が食糧品諸原料品の二に別ちて指數の消長を示せるを紹介すれば次の如くにしてこれ亦食糧品の方價格を維持せるを見るべし

	食料品	原料品
昨年九月	二〇五、七	二〇九、七
同十二月	二〇九、二	二〇三、一
本年一月	二〇五、六	一九七、九
二月	一九六、四	一九二、四
三月	二〇五、八	一九三、六
四月	二〇二、九	一九三、五
五月	二一五、〇	二〇九、二

以上記する所より推す時は英國に於ては大體に於て
一、一般生産品、原料品は休戰の影響を受くる料比較的重く
一、食料品は此影響遲く且つ輕かりしこと
一、兩者を通じて昨年秋冬の交を最高として一旦低落し本年三四月を底として再び騰貴せること
を看取し得べし

米國騰貴率

以前に記せる佛英兩國に比すれば米國の物價騰貴は稍趣を異にせり、米國が大戰に參加せしは一昨年(一九一七年)四月にして即ち十箇月を兵馬倥偬の裡に送れ、英佛兩國は昨年十一月迄に五十二箇月を戰爭に送りしに反し米國は二十箇月を戰爭せるに過ぎず此間米國の物價が如何の騰貴を見たるやはフェデラル、レーザーヴ、ブレチンに掲げられたる指數表に據るが便とす次表は其拔萃にして何れも一九一三年度を百として指數を換算したる百分率比較なり

	米國 勞働局	米國 ブラッドストリーツ誌	英國 エコノミスト	英國 スタチスト誌
一九一三年	100	100	100	100
一九一七年三月	一七〇	一五四	一九七	一九九
一九一八年十一月	二〇六	二三五	二三二	二三四
一九一九年三月	二〇一	二〇三	一九七	一九六

暇りに勞働局調査と英國のスタチスト調査とを比較せんに米國は參戰後四十六ポイントの騰貴なるが英國は五十二箇月間の騰貴を示し一年平均二割七分六厘の騰貴に百卅ポイント、一年平均三割の騰貴を僞せり茲に注意すべきは米國が參戰前即ち一九一七年三月に於て既に六十ポイントの騰貴を見たることにして即ち一六割の戰費をも支出せざる以前に六割の騰貴に會し居たるとなり

食料緩まず

休戰前後に於ける指數の變化は大體英佛と趣きを同じふせりブラッドストリーツ誌の指數に從へば昨年六月の一九、一八四九を最高として下向き休戰に會し稍低落の度を强めたるも本年二月の一七、二二四四を底として再び騰勢を辿れること次表の如し

	一九一八年	一九一九年
一月	一八、〇七六	一七、六三四
二月	一八、〇五四	一七、二二四
三月	一八、四三三	一七、三九五
四月	一八、九一三	一七、三三六
五月	一九、〇〇四	一八、〇九〇
六月	一九、一八四九	
七月	一九、一二〇	
八月	一九、〇四八	
九月	一九、〇二六	
十月	一八、九二〇	
十一月	一九、〇三五	
十二月	一八、三四八	

各種貨物中原料品は低落甚だしからず食料品は對歐輸出ある爲め依然强調を持續し全製品亦一旦低落せる後の騰勢寧ろ盛んなるが獨り半製品は休戰後引續き低落を續けつゝあり

日本は特別

最後に日本に於ける物價の趨勢を見るに大正三年八月參戰の前後より閑調に陷り同年末は低落の底を示したるが爾來騰勢に轉じ休戰と共に小康を示せしも本年三月を底として反折更に記錄的騰貴を告げたり日本銀行調査の指數に此間の事實を示せり

三年七月一二五、六五△同八月一二七、六八
同九月一二九、一六△同十月一二七、三
同十一月一二五、六△同十二月一一九、八一
四年十二月一四二、一△五年十二月一七三、一一
六年十二月二二〇、〇〇△七年十月二八五、五〇
同十一月二八三、四三△同十二月二八二、六一
八年一月二八三、二五△同二月二八一、五九
同三月二七二、九八△同四月二七三、一八
同五月二八三、六八△同六月三〇一、六三

戰時中に於ては三年末の一一九、八一を最低として七年十月の二八五、五〇を最高とするものなるが試みに四年末を三年末に比較するに二十三ポイント三〇の增加にして五年末は更に三十一ポイントを增し六年末は四十六ポイント八九を增加し七年十月の最高値たる十月分を六年末に比すれば六十二ポイント六一の増加なり斯くの如く休戰間際まで增加率に漸增を見たるは英佛米三國の例が一九一七年を頂點として爾後騰貴率弱まりしに對比して特殊の現象と云はざるべからず

錬膽錄

徳普禪師

三笑生

◇德普禪師は、夾山念禪師の法嗣であるが、常に好んで諧謔を弄したものである。

◇元祐五年十二月廿五日に、左右の侍者を顧みて『諸方の尊宿達が死ぬ事さ、必ず叮嚀な祭祀をするのが、叢林の常態であるが、實に詰まらない事ではないか。老僧が死んでも、御前達は、同じ事をするであらうが、老僧は死んでからは、如何にして呉れ。老僧は、もうやがて逝くから、毎日御馳走をして呉れよ』と言ひ出た。大衆も、初めは和尚が、例の諧謔を弄するものとして、まことに受けなかつた。

◇然し只だ打ち遣つて置く譯にも行かぬので、一人の役僧が『和尚さん、それでは何日遷化せられますするか』と訊ねて見たら、和尚は『御前達が、皆順に逝かうと思ふ』と云ふ。門弟達は信じないながらも、師命の通りに老僧の御祭りをして呉れたら、其の寢室に幃を下して、和尚を其の中に坐せしめ、恰も佛壇に鏡を祭るやうにして、恭しく食饌を奉り祭文を朗讀し跪いて禮拜した。和尚は、之を受けて忝くほど饗喫した。

◇斯やうにして、門弟子から其他のものに至るまで順次和尚を祭り、明くる年の正月に至つて、祭りは一通り濟んだ。其のとき和尚は言ひ出した『明日雪が晴れたら、逝くことにするから』と。之を聞いた大衆は、何だ、また和尚が、例の戲謔のだ。雪なんか晴るものではありやしないかと互に顏を見合せて笑つて居た。すると、其の夜大雪降りとなつたが、間もなくまた元の晴天となつた。

◇其の時老和尚は、香を焚いて、坐禪して居つたが、香煙がスーッと立ち消ゆと同時に、和尚は泊然として既に坐亡して居つた。之を見た大衆は今更の如く驚き、呆然たるものもあれば、悲泣慟哭するものもあつたが、和尚は、遂に此の世の人ではなかつたのだ。

◇德普禪師、末後一段の洒落は、宛然一齣の喜劇であるが、生より死に遷ること、恰も舞臺面から樂屋に入る所と異なる所はない。

株式會社第一銀行第四拾六期營業報告

貸借對照表

負債之部

科目	金額
一資本金	二二、七〇〇、〇〇〇.〇〇
一積立金	一四、六〇〇、〇〇〇.〇〇
一諸預金	三五八、五〇二、五七八.〇二
公金預金	一、四九三、一四四.四四
當座預金	八四、八〇二、三三〇.八八
特別當座預金	三三、九〇九、八六八.六一
通知預金	三五、五九九、五五五.二六
定期預金	一九一、六四三、七四六.三一
諸預金	一一、〇五三、九三二.五二
一他店勘定	六、九七五、九六七.〇九
一賣渡外國爲替	四七、六九〇.三九
一仕拂承諾	二、六九五、七〇八.三一
一借入金	一四、五〇〇、〇〇〇.〇〇
一銀行券銷卸資金	四、三三四、〇〇〇.〇〇
一本支店間未達勘定	二、四二一、九〇二.〇四
一未拂配當金	七、一七八.〇九
一未拂利息及未經過割引料	五、四〇八、二四五.四五
一前半季繰越金	一、一〇四、三四七.三六
一當半季純益金	三、〇五七、七五五.三四
合計	四三六、三五五、三七二.〇九

資産之部

科目	金額
一未拂込資本金	二、一五〇、〇〇〇.〇〇
一諸貸出金	三二三、五九九、四六七.六二
貸付金	一八七、二五〇、一三九.二〇
當座預金貸越	二〇、〇六一、三四六.一〇
通知貸	一、八五〇、〇〇〇.〇〇
割引手形	一〇九、八七六、八四〇.〇三
荷付爲替手形	四、五六一、一四二.二九
一他店勘定	五、三七一、〇六〇.三六
一買入外國爲替	一、一八三、八六〇.一七
一仕拂承諾見返	二、六九五、七〇八.三一
一諸公債證書	三四、一七二、二九六.七五
一諸外國債	一七、一四一、三二五.五四
一諸債券及株券	八、〇九一、六三一.六七
一營業用土地建物什器	三、一七二、三六四.〇〇
一所有不動產	三八、三〇七.二〇
一預ケ金	三、〇五〇、一四八.九六
一現金有高	三五、六八九、三〇一.六一
合計	四三六、三五五、三七二.〇九

利益金勘定

科目	金額
一當半季純益金	三、〇五七、七五五.三四
一前半季繰越金	一、一〇四、三四七.三六
合計	四、一六二、一〇二.七〇
内	
役員賞與金	一五三、八八〇.〇〇
行員恩給及退職給與金	六一、五〇〇.〇〇
積立金	一、六〇〇、〇〇〇.〇〇
舊株配當金(年一割二分)	七一七、〇〇〇.〇〇
新株配當金(年一割二分)	五一六、〇〇〇.〇〇
後半季繰越金	一、一一五、〇七二.七〇

大正八年七月
東京市日本橋區兜町壹番地
株式會社第一銀行

頭取　佐々木勇之助
取締役男爵　三井八郎次郎
取締役　熊谷辰太郎
取締役　日下義雄
取締役　佐々木慎思郎
取締役公爵　德川慶久
取締役　田中源太郎
取締役　石井健吾
取締役　西園寺龜次郎
監査役　土岐僙
監査役　尾高次郎

右各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證ス

追而監査役土岐僙、尾高次郎任期滿了ニ付改選ノ結果再選就任致シ又監査役一名增員選擧ノ儀ハ前山崎半造就任致候

話の世界
奇談と怪談
八月號

髑骨物語……福士幸次郎
光嚴寺婆……武田仰天子
山姥の怪……田中貢太郎
幽靈火……水島尺草
女影原……中内蝶二
大久保化猫……澤田撫松
赤い舞踏靴……中谷德太郎
死の聲……松本苦味
本號一部卅四錢
東京神田南神保町二 株式會社日新閣

觀よ平和克復を記念すべく盛夏增大號の偉觀

月刊 朝鮮公論

大陸雜誌界の驚異

題平和克復記念號

本誌の本領　國際親善を期し以て國運の隆興を期し政治的經濟的社會的施設の完璧を成就せざる可からず

平和克復と帝國の將來(社說)
帝國の理想と義務……内閣總理大臣　原敬
加藤總裁の演說を批判す……政友會總務　小川平吉
講和條約成立と新世界の形勢……法學博士　浮田和民
講和成立と世界の變局……文學博士　箕作元八
帝國の大本と現代の思想……ドクトル　福本日南
過激思想と勞働問題……早大教授　帆足理一郎
自由の神板垣伯逝けり……貴族院議員　杉田定一
講和成立に鑑みて國民に警告す……衆議院議員　長島隆二
吾人の理想と國防……陸軍大臣　田中義一
國際勞働規約と我國産業界……早大新授　服部文四郎

朝鮮騷擾觀と今後の統治政策
露國統治の第一義……嘉納德三郎
平和克復と朝鮮海運界……松崎時勉
警務機關と國勢調査……荻田悅造
歐米の社會問題思想を根本に檢討す……宮館貞一
電信電話遲延と改善策……矢野義二郎
奇怪極まる西伯利駐屯の米軍……黑旋風

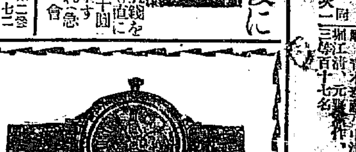
鮮滿財界側面觀……追川生
宣傳運動の必要……工藤法學士
銀行會社の營業振……五城樓
山に行け……白雲山客
京城名士の隱藝……K・O
京城演藝風聞錄……兎耳子
時事偶言……俊坡生
世界的發展の東拓……伊藤生

五大國講和會議出席委員の略歷及人物批判……在京記者
花柳時事問題……變影子
うらおもて釜山道中記……天々生
藝妓の噂……獨次馬
夏日雜詠……不案子
夏季と保健法……芳賀博士
力士團の力量……老撲手
記者團野球戰評……批評係
京記チーム評論……M生
十年前の元氣を……胡蝶子
花柳病の話……瀬戸醫學士
餘技　妓生戀物語……井井靜波

本誌の特色　▲本記は世界未曾有の大戰亂の平和克復を記念としたる稀幹なる增大號にして平和克復後の經濟的文化的帝國主義を徹底的に鼓吹し記事としては精緻正確なる經濟記事、人物評論及半島に於ける運動界は勿論、殖民地を背景とせる社會記事を金剛山の勝景、白砂青松、南鮮の碧海等の寫眞を掲げ清新の氣を添紙に横溢して類なきもの
▲本號に限り定價六拾錢
購讀申込所　京城　朝鮮公論社

君の養鶏法で儲からぬ時こそ最後に
養鶏講義録
卵價の高價なる夏秋に恐らく市價一個拾五錢を超ゆる事あるべし御身も直に本會に入會し新式通信教授によりて『十年也三雄百雌年利千圓』を舉げよ(速成卒業會費金貳圓五拾錢)委細説明書本會則進呈す
ハガキにて御申越あれ(急)
東京麹町區日比谷公園前　大日本養鶏普及會

古本と古樂器買入
京城本町　振替二貳二參　電話五二七一　ウツボヤ書店



瑞西製
腕時計新荷着
十八金十形アンクル十石入　金四十二圓
十ケ年純金張十形　金十二圓八十錢
銀側十二形アンクル十五石入　金十五圓
ニッケル十三形アンクル七石入　金十三圓五十錢
小包料各十八錢宛
京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

京日案内

普通一回前金(一行二十錢)……
▲申込後中途取消は料金不返付▲六回以上の申込は特に割引……

▲古本熱心高價買入▲御報告あれ　本町二丁目……電話三一九五番
▲是非御試驗を乞ふ▲詳細書留
藥局生(男女)看護婦及同見習生數名採用す　姓名仁川京日支局……
▲支店長一名▲傭給百圓迄▲内勤五名▲外務五名……市内に保證有る者履歷書携帶來談……龍山漢江通十一番地四百…電話八一〇番

有給外交員數名募集……京城最上日報社代理……
高級外務員招聘〇日語に通じ……城又は地方上流鮮人に交際ある紳士にして希望者は履歷……
京城黄金町二丁目　太平生命保險……
◇電話賣物あり　希望者は電話一七三四番へ
寫眞製版見習生募集　年齡十五才以上十八才迄の希望者直接本人來談ありたし　京城日報社寫眞部
恩給立替　金は即時に御立替す　地方は規定書送呈◇電話七〇〇番　京城若草町郵便ポスト前　西村商會
店員入用　年齡十四歲以上十九歲以下……本人來談▲電話一五一一番　龍山元町二丁目　カナヘ商店
年金恩給　低利即時御立替……西本願寺前下角　江州屋本店
◎ほねつぎ(うちみくじき)一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場
看護婦及見習募集　希望者本人來談ありたし　龍山元町三丁目　電話二〇四　幾野病院
電話賣買　電話番號變更二參參五　京城本町三丁目三九　下村泰造
▲花アラレ　職屋入度し　滿州公主嶺　花園町　楠田商店
一聲電話讓物あり　◎電話並に勸業債券高價買入　光化門通電一四四七番　坂本

婦人頭飾品　御眼鏡　時計指環
京城本町一　平井時計店
振替一〇一二番　電話一二六一番

墺新聞條件悲觀

條件の緩和を切論す

二十日巴里に於て公布せられたる墺國に對する講和條件について維也納發行の墺國新聞は一般に大なる悲觀を喚起しつゝあるが其要點は大要左の如くにして此の如き苛重なる條件に對しては墺國全權に於て宜しく聯合國側に說明し條件の緩和を計らべしと切論せり

一、皆無なる船舶の引渡しを要求したる事

二、承認し得べき限度外の要求即ち家畜の如き墺國人にすら給し能はざる少數なるに講和條件は其の大多數の交附を要求せり

三、斯の如く實行不可能なる條件は到底變更を要求する外なし

四、五大國の賠償金は其の過大なること實に極端なり

墺更に猶豫を乞ふ

墺國は講和條件に對し更に數日間の猶豫を乞へり（巴里電報）

對匈國條件討議

講和最高會議は匈牙利講和條件に就き討議中なり（巴里電報）

對獨平和同意案

北京政府は對獨平和恢復同意案を國會に提出せり（北京電報）

支那と損害賠償

巴里に賠償機關を設置

歐洲戰爭中の損害賠償に關し在巴里陸徵祥氏より本國政府に左の電報を寄せ來れり（北京電報）

戰爭中の損害賠償に對しては講和會議の決定に基づき將來巴里に一賠償機關を設置することゝなれるが英米佛は各一名の委員を派して表決權を有し日本、白耳義、塞爾維は直接關係事項に限り表決權あり又其他の各國は各一名の委員を參加せしめ發言する事を得るも表決の權利なし各國の賠償要求額は一千九百二十一年迄に決定して獨逸に交附する筈なり決定する迄に尚二箇年の日子あるを以て財政部より外國語に堪能にして戰時の事情に精通する人物を派遣せられたし

國際航空法規

國際航空法規は巴里にて起草されたるが右法規は各國の領域、領海、河川上空に於ける完全且つ絕對の主權を認め平時中は指定場所以外の自由航空を認め且五大國より國際航空委員會を組織するの件を規定せり（倫敦電報）

日獨條約否認

日置公使

瑞典駐劄日置公使は公式に日獨條約を否認せり右に就き巴里支那委員は曾て斯る條約存在せりとは聞知せざるも該條約に關する商議行はれたりと指摘せり（巴里電報）

コルチヤツク軍戰況不利

人心動搖＝北露總督の訓令

コルチヤツク軍の戰況近來次第に不利に陷りつゝあり北露人は當初右戰況を聞知せざりしが近來之を知ると同時に流言蜚語頻りに起り民心頗る動搖しつゝあるが右の流言中には『コルチヤツク軍過激派軍に投降せり』と云ふもあり或は『英軍北露を撤退せり』等の說あり民心の動搖憂慮す可きものあるを以て北露總督は鎭撫的訓令を發し人心の鎭撫に努めつゝありと（某所著日東京特電）

朱啓鈐代表拒絕

北方和議代表に就き廿七日の閣議にて決定し全閣員の名儀を以て朱啓鈐氏に對し右代表として再起を求めたるも二十八日同氏より辭退の旨通告し來れりと（北京電報）

日米派遣隊守備

オルクツク、オムスク

ヴエルサイユに於ける聯合國經濟會議は西伯利鐵道守備の任にあるチエツク軍が本國に歸還の必要を認めたるよりオムスク政府に對し日米派遣隊を以てイルクツク及びオムスク守備の任に充てんことを提議したるにオムスク政府は直ちに之を承認せりと（哈爾賓電報）

山東省長更迭

二十八日閣令を以て山東省長沈銘昌氏の辭職を聽許し屈映光氏を同省署理省長に任命せり（北京電報）

奉天軍大敗

戰死四十三負傷百五十

…所に達せる報道に據れば奉天軍步兵第廿七師第三旅第一中隊は廿五日寬城子方面に於て高粱の畑中に塹壕を設け居たる吉林軍の狙擊に遭ひ大損害を蒙り中隊長初め戰死四十三名負傷者百五十名を出し僅かに十一名身を以て遁れたるより奉天軍の士氣沮喪せりと（奉天電報）

地方的交涉か

寬城子事件は赤塚總領事よりも支那政府の解決を待ち得べく多分地方的交涉として赤塚總領事關東廳外事總長の資格を兼ね奉天に於て交涉開始さるべしと傳へらる（東京特電）

鮑督軍不日來長せん

二十八日來長せる高恩遠氏は鮑督軍と會見の結果鮑督軍を哈爾賓より迎へ長春にて正式會見の上督軍印綬の授受を爲すことゝなりしを以て同夜來長せる吉林督軍公署諮議長柳氏以下八名の代表者は鮑督軍出迎への爲め黃參謀長と共に廿九日午後零時半長春發東淸線列車にて赴哈したるが鮑督軍の來長に就ては人心の動搖を防ぐ可く多數の軍兵を伴はず單身來長の事に妥協成立せる模樣なり

高中將軟化か

高士儐中將は討孟軍を起す可き宣言書を發表し別行動を執る可き模樣なるも前後の形勢恐く不利を見て來りたることゝを以て態度軟化せりとの說あり該宣言書は一時の方便にして再び龍頭蛇尾に終るならんとの觀測有力となり來れり殊に高氏は孟氏の招電に依り二十八日夜密に來長したるも高氏が果して孟氏及び鮑參謀の會見に參加したるや否やに就いては不明なり

對獨講和成立當時の四大國會議首腦

（右より）ウイルソン、クレマンソー、オルランド、ロイドジヨージ

對支條件決議

廿八日午後七時より長春在留邦人居留民會幹部協議會を開き寬城子事件に關し對支條件建議案を附議し八箇條の條件を決議し關係各當路に向け打電せり

東淸線臨時列車運轉

東淸線列車は廿八日午後七時半長春發哈行第卅九日朝及び正午の二回長春より哈爾賓に向け發車せしが露人從業員の談に據れば右は從業員の罷業せしに非ず鮑督軍迎への爲め赴哈す可き代表者の請求に依り臨時列車を出せるものなるが二十九日夜は發車せずとされ哈爾賓方面には復舊せりと傳へられ居れり但し二十九日は未だ一列車も哈爾賓より列車到着せざれば同夜長春より哈市への發車は未定なり（長春特電）

樺山伯意識不明

樺山資紀伯の病狀は目下昏眠状態を繼續し意識不明瞭にて頗る重態なり見舞客殺到し居れり（東京特電）

有賀博士歸期

支那政府顧問有賀博士は任期滿了となりたるを以て本月末歸朝すべしと（東京特電）

鮮滿出張命令

二十九日左記の通り命令ありたり（東京特電）

東京帝大理科大學教授 山崎直方

宮內省御用掛理學博士 東京高等學校教授 金子隆之輔

文部省圖書官 內田寬一

南滿洲へ出張を命ず（各通）

朝鮮及滿洲へ出張を命ず

日本銀行帳尻

二十六日の日本銀行帳尻を聞くに左の如し（東京電報）

	千圓
發行高	九六六、九〇〇
正貨準備	七〇七、七〇〇
制外發行	一一九、二〇〇
貸出高	四〇二、四〇〇

墨國米艦抑留

眞相審ならず

最近米國モニトル型軍艦シヤイエン號は墨國東部タメシン河のタンピコ附近にて墨兵の爲めに抑留せられ乘組員の所持品等悉く強奪されたるが米國官邊は直ちに

抗議を提出

せりとの外電所報に對しては未だ其筋へは何等の情報達せざれば其眞相詳ならざるも獨逸に於て講和條約の批准を了せるのみにて聯合國側に於ては未だ一國も之を批准せず今尚戰時中にして平和全く成立せざる今日なるを以て交戰國たる米國軍艦が中立國の墨國內の港灣に入り二十四時間以上經過するも出港せざりしため抑留されたるものなるやも知れざれど其實墨國の米國に對する反感は支那の日本に對するよりも

遙かに激甚

にして米國官民の無遠慮なる對墨政策と墨國の之に對する反感の衝突も又其因なるべく墨國政府は曩にタンピコ其他の油田を國有に移すべく宣言せることありしも米英人の投資せるもの頗る巨額に達せるため米資本家はこれに反對し來れるが今次軍艦の抑留も惡くタンピコ附近に起れる事件の一たるより見れば是れ亦原因の一たるべく推せらる（東京）

在鮮獨墺人財產申告

獨墺人財產管理に付きては各道廳に於て目下其申告書取纏め中なるが京城府內に於ける獨墺領事館を始めとし九人の所有者のものにして廿八日迄に全部報告濟となりたるが今其の申告書の總計を見るに土地六萬四千九坪七合五勺（內安城郡所在土地二萬三千三百廿三坪）價格二十八萬一千三百四十四圓建物總數一千一百一坪此の價格三十萬七千三百三十圓、銀行預金其他の動產五萬七千七百九十五圓合計七十三萬九千八百四十一圓五十九錢にして之れに對し債權關係を有する額一萬二千六百十圓なるが該申告は『財產中の衣服、寢具、家具、厨具、書籍等にして貴重なる寶石、貴金屬等の類を除きたる日常生活に必要なる動產類』を除きたるものなれば所有者自ら見積りたる金額の下にして申告したるものなるが道長官は更に財產隱匿の有無管理の可否等に就き詳細調査を遂げたる上臺帳に登錄し之等の管理を開始するものなりと

仁川申告書

特種財產管理令に依る仁川府管內に於ける申告者は總數十四名にして他に一名の財產所有者あるも右は獨逸婦人と其幼少の子のみにて目下長崎に在住し京城西公使館勤務中に付之に對し申告を勸打合せ中にて未だ申告を了らざるが前記十四名の內重なる財產所有者四名の申告高は合計土地三十三萬二千六百十二圓建物三十一萬九千五百圓有價證券六百八十七圓現金八萬六千百餘圓其他二千三百餘圓にして他の十名分は約十萬圓なるを以て合計九十萬圓以上に達すべし因に右の財產は全部管理令を適用すべきや否やに付目下當局に於て審議中なりと

全道罌粟栽培

耕作面積千二百町步

朝鮮阿片令施行に基づき本年度の藥用阿片製造を目的とする罌粟栽培面積は始め一千五百町步の計畫にて播種したるが不幸天候不順の爲め又は旱害に遭ひ枯死其他の爲め實際に於ては京畿道五百町步忠淸北道二百町步黃海道二百町步平安北道百五十町步全羅北道百五十町步合計千三百五十町步に過ぎず而して目下製藥阿片の收納期にして前記各道警務部の手を經て度支部にて買收中なるが本年は一般に

成績不良

にて反當り平均三百匁の阿片收穫を示せり右不良の原因は何分本年は無經驗者の栽培なりしからざると優良なる種子に乏しかりし事と無比なるハルピン種を悉く播種したる結果ならん如何に不作なりとも普通作物としては阿片製造を目的とする罌粟栽培より有利なる事業は先づ無かるべく朝鮮に於ても普通作柄なれば反當り四百匁の製造阿片を收納するは容易なりとの前記罌粟栽培に關して明年度の前記罌粟栽培に關しては目下度支部に於いて指定作付面積並に氏名其の他調査中なるが已に大要を完了せるを以て近く總督府官報に告示さるべし聞く所に依れば

明年度の

栽培總面積は本年度と同じく一千五百町步本年初期播種と同じく種子は本年度の優良種のみを採種せしめ大阪に於ける三島種の如き優良種の不結果に鑑み大に取捨し實收高の計算の上にて收納の都合に因り成るべく小口の栽培を避け栽培出願者一人に就し一反步以上五町步以下に制限するに至る可しと

寬城子事件進展如何

赤塚總領事現場引揚

寬城子事件調査の爲め現場に赴ける赤塚總領事は二十五日引揚げたるが此の事件は結局この儘にて或は將た奉天軍の重要任務を帶び直ちに任地に歸還したるものなるや尙不明にして今後之を地方問題として解決し得る乎將た北京政府との交涉と爲す可きものなる乎報告に接せざる

獨立を宣言

せざれば言明し難く今回吉林し奉天軍は宣戰を開始するや吉林軍は長春方面より南滿鐵道沿線に活動し亂暴を爲さゞる無かりしかば張作霖氏の如きも或は之を支持緩ひ難き

邦人の占領する所となり邦人の危險云ふ可らず而も高士儐師長以來北京政府の態度は漸く硬化せる模樣なれば孟恩遠氏に對しては威壓を以て之を征服し得可しと雖も高士儐氏の勢力を基礎とせる吉林一帶は大いに紊亂せざるを得ざる可し之等の點に就き我政府が率先して何等か斡旋を試みざるに於ては日支國交上憂ふ可き危害を釀す可く赤塚總領事が奉天に歸還せる事が該事件調査中にありたりとすれば或は斯かる關係を以て張作霖氏に會見の必要あるに非ずやと推測せらる（某消息通談）（東京特電）

英婦人官吏任命

英國上院の婦人官吏任用案は第二讀會を通過せり（倫敦電報）

隧道工事中止

工事費騰貴の爲め

京城府當局に於て目下計畫中なりし京釜線鐵道改良工事に伴ふ隧道工事は其後志岐組にて請負ふべく見積書を徵したるに請負人側は約四箇年に亘る長期の工事なるを以て充分前途を豫測し意外の見積り書を提出せるため豫算額を超過すること勘からず全然協定の餘地なければ同局は該工事を不可能として中止すること

仁倉發起人會

仁川倉庫株式會社は證據金拂込を了したるを以て發起人會を開き十圓のプレミアムを附し盛に買附けつゝある盛況なるが株金拂込に就ては未だ確定せず二十九日午後七時より發起人會を仁川ホテルに開き拂込期日其他に就て打ち合せを爲し愈々決定せし筈

鮮銀競技會

朝鮮銀行にては行員の實務研究機關として新設されたる友會の第一回事務競技會を卅日午前八時より銀行集會所に於て開催すべしと

石油供給難

各國

近時世界各國共石油の供給に關し大いに着目する處となり之が需要も亦著しく擴大せらるゝに至れり即ち米國は海軍擴張の計畫に基づき之れが燃料として石炭のみに依らず重油其他の燃料を以てせんとする方針に傾けるものゝ如く又英國に於ても石油の燃料として缺くべからざる必要を認め軍事用として重油其他燃料の獲得に就て大いに深慮せらるゝに至れり之れが爲め英米兩國の如き競うて有望なる油田の獲得に力むるに至るが殊に英國は將來石油の供給を米國に仰ぐ能はざるより政府自らローヤルダツチ會社の株主となり大藏省は低利資金を融通して其他の事業資金に振向けおれる外波斯、埃及、緬甸等に於ける石油地を獲得し更に羅馬尼、露國、墨國等に力を注ぎて鋭意自給策を講じつゝあり其他佛伊兩國に於ても海軍燃料油不足のため米墨兩國より之れが輸入を仰ぎ以て其の供給を充たしつゝあり米國が油業に投資せる資本の如き實に數十億弗に達し繼々其の効を收めつゝありと云ふ近時我國に於ても海軍の艦艇燃料として石油の供給を必要とするに至り內地產油の現狀を以ては其供給不足を感ずるより之れに鑑み七年度軍需費目より艦艇燃料油等の軍需費目を計上し引續き之れが繼續費を要求せんとしつゝあり既に臺灣油田の開鑿、日寶內省に依託進捗中なるが未だ出油の運びに至らず殊近兩三年來我國の產油は漸次出油減少の傾向を呈し居り現時米國用鐵管の輸入杜絕の結果を以て推移せば今後諸工業の發展並に各般の需要に對し供給の滿足を與ふる事難かるべく之れが發展策としては宜しく現時の如き僅少なる投資を以て足れりとせず資金の增加を計りて事業の發展を策して將來石油供給の確保に努むべきなりと（東京）

◎連絡船博愛丸定員改定 連絡船中博愛丸の乘客定員は一等三十九人二等八十人三等四七四人に改定したる由

前田大佐發期

新任關東憲兵隊長前田昇氏は來月七日頃出發赴任すべしと

定例休刊

三十日は明治天皇祭に就き同日發行の夕刊並に翌三十一日發行の朝刊は定例休刊す但しその間重要事件勃發の際は號外を以て報道すべし

人事消息

▲菊地謙讓氏（民本評論社長）二十九日退城

▲久我清麿氏（鮮銀釜山支店長）廿九日夜入城不知火へ

▲富山儀作氏 廿九日夜入城龍尾へ

鳥瞰錄

今度英國皇帝から伯爵に十萬磅を添へて賜はつた英國聯合艦隊司令長官ビーチー提督は餘程金運の好い先生と見えて今の夫人と結婚する時も遺產挿話がある▲夫人は市俄古附近の丸持長者の娘で愈々婚禮が濟んで新郎新婦蜜月の樂い旅行に出發しようとすると男爵▲『海軍の軍人と云ふものは附き合ひの張るものだ、當座の入用に少し上げよう』とおつしやる▲ビーチー先生十萬磅と云はうかそれとも十五萬磅と云はうかと多少遠慮して居ると男爵の遠慮を見かねてか▲ポンと二十萬磅の小切手を投出して『まあ之れで當分我慢なされ』おまけに夫人は頗る付きの美人とあるので大分羨望の的となつた相な▲吉林督軍は國賊張作霖膺懲の正義戰を起すと宣言し日本朝野の士我等の苦衷を諒とせよと大きく出て居る▲可哀想に張督軍を逆賊扱ひにし罵る處は猛烈だと云ふ畢竟ずるに張督の苦肉策が效を奏したからだ▲之だから支那人のやる事は滅多に信用は出來ぬ▲親日の御大として張督の云ふ事を全く眞實だと思つて居た滿洲通の先生方もチト目が醒めたのだらう▲吉奉軍も何うしても衝突せなければ吹き別れともなり相にないまアしつかりやつて貰ふも好い

海難を未然に

…て海が荒れ航海中の船舶に…つた即ち無線電信…たのである、之につき佐伯遞信技師は語る『全國の漁船全部に…を引き乾電池も僅三個あれば十…遭難を未然に防ぎ得るばかりか…

連絡船上陸客

廿八日 …（二等）九十三名（旅）滿洲國太郎、伊東貞介、大野喜代吉、長谷川富治郎、和田…、大澤伊之助、和田猪吉、小川清一郎、小出秀二、吉田久四郎、其外…

下關期米特電

…二七、四七
▽受渡 二千六百石
▼建値 三十九圓二十八錢
廿九日後場（弱氣崩れ賣ひ殺到）

商業登記

商號 …運輸組 營業ノ種類 …荷物運送 本店 京畿道水原郡水原面梅山里壹四參番地 …

右大正八年七月貳拾八日登記

京城地方法院水原支廳

朝鮮總督府

一、三坪積及六坪積土石運搬船 各貳拾艘新造工事

右請負希望者ハ七月三十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

朝鮮總督府

一、黑色鑛山用火藥外壹點 一、公押角外壹點

右購買ス詳細ハ七月三十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

平和記念植樹には何 世界に誇れる有益果樹

丹波栗 苗木豫約 分讓 特典進呈

丹波國氷上郡和田（栗道家）本場

第廿一回決算報告

貸借對照表

資產ノ部

拂込未濟資本金	一二二五〇、〇〇〇
興業費	七、二〇二、〇四〇、六一八
興業費未決算	三二、一三八、五三二
貯藏品	三七九、四三一、三二一
假拂金	二、〇一六、四二八、四
未收金	三、三六四、三八
有價證券	三、六三五、七七
未證物件	一、七五〇、〇〇〇
銀行預金	二、七一、〇四〇、四〇
振替貯金	三、五九一、一〇
現金	三七、七三、一八〇
合計	一〇、一四五、三一八、四〇一

負債之部

資本金	九、〇〇〇、〇〇〇
準備積立金	二、〇〇〇、〇〇〇
別途積立金	二二、〇〇〇、〇〇〇
使用人退職手當基金	二〇四、〇〇〇、〇〇〇
未拂配當金	三、四〇三、四七〇
契約保證金	九、七〇〇、五〇〇
身元保證金	一一五、四〇〇
假受金	五一、九〇〇、〇〇〇
未拂金	一三、八六四、〇〇〇
前期繰越金	一五三二、四〇〇
當期純益金	八〇一八三一七九〇
合計	二一九、〇一八、二二二

利益金處分計算

當期利益金	三五九、〇一八、二二二
內興業費減價償却金	三〇、〇〇〇、〇〇〇
差引純益金	三二九、〇一八、二二二
前期繰越金	五八、〇一八、三一九
別途積立金	二〇、〇〇〇、〇〇〇
使用人退職手當基金	二〇、〇〇〇、〇〇〇
役員賞與金	五、〇〇〇、〇〇〇
株主配當金（年八分）	一二七〇、〇〇〇、〇〇〇
後期繰越金	六二、〇三六、四四〇

大正八年七月　日

東京市日本橋區新右衞門町十六番地

株式會社 京城電氣會社

取締役社長 大橋新太郎
專務取締役 木本倉二
取締役 山口太兵衞
同 白石寅基
同 伊藤幹一
同 下郷傳平
監査役 平澤道次
同 萩原源太郎
同 白石重太郎

右調査ヲ遂ゲ其正確ナルコトヲ認メ報告候也

ロンドン著 堺利彥譯 有島武郎跋

野性の呼聲 五版 定價八十錢 送料六錢

主人公はバツクと云ふ犬だが讀んで行くと人間に在るから妙だ。而も吾々の實生活に迫るから妙だ

柳宗悅著 宗教とその眞理 再版 定價二圓三十錢 送料八錢

有島武郎著作集第六輯 生れ出る惱み 三十二版 定價八十錢 送料六錢

有島武郎著作集第七輯 小さき者へ 十八版 定價五十五錢 送料六錢

有島武郎著作集第八、九輯 或女 前編 後編 二十版 定價前編九十五錢 後編一圓三十錢 送料各八錢

見よ！叢文閣の五大出版を

發行所 東京市牛込區神樂町二ノ十一 叢文閣 振替東京四二八八九

早稻田工手學校 生徒募集 入學期日八月二十日 授業開始八月二十日

● 採鑛冶金土木建築機械電工 ● 大學附屬 ● 實驗實習機械標本等早稻田大學理工科の諸設備を共用す ● 尋常小學卒業者第一學期、中學卒業者第四學期に無試驗入學 ● 市電早稻田終點より南方約二町 ● 規則要郵券二錢

丸善ゼニスインキ

特長 ビール半打を氷百匁で僅か三分間に見事冷却す

尚冬季は熱湯を使用し速溫器となる、圖の如くビールと氷は絕對に混合せず從つてビールの味は變りません

專賣特許第二七七六八號

速冷器

正價 五圓五十錢

構造 本器は眞鍮板を以て造りニツケル鍍金をなし內部は全部スズ引なるを以て衞生上些少の懸念なく外觀は優美高尚にして且堅牢なり

（四合入）

製造元 京都 明立社

中元御進物並に暑中御見舞として最も適當品

御注意 本器の賣行き好況の爲め模造品有之やに及び御購求めの際は專賣特許第二七七六八號と製造元明立社の商標に御注意を乞ふ

主なる販賣店

大阪市難波稻荷町三丁目 共榮商會
大阪市東區大川町 大每代理部
佐世保市港町 株式會社田中丸商店
久留米市篠山町二丁目 明立社出張所
東京市室町三丁目 三越吳服店
東京市下谷區櫻木町一番地 明立社出張所

全國著名雜貨、金物、洋酒食料品店に販賣す設販賣進呈す、最寄販賣店へ御照會あれ

一時にはよく突然暴風雨が起つてゐたが今回其完成を見るに至り……奬勵と……行ふことゝなつた……を裝置しなければならなかつた附近の測候所と連絡して置けば共に……

京城の夏

池畔（龍山にて）

小學生體育問題

疲勞問題を閑却すな（下）

歐洲で問題の婦人勞働者

京城　岩井潔

第二は男子と女子とを同樣に扱ふといふ事の誤謬である事はビネー氏の説明の示す如く明かである。彼等女子は單に武力に於いてのみならず、疲勞の度に於いても男子に及ぶ事は出來ない。勿論

多少の例外 はあるに違ないが從つて男女性別の無い職業にあつては問題はないが其の事業組織にあつては男子に比較すれば疲勞し易い女子は早く疲勞を感じ乍らも無理に强いられて止むなく强制にたへ行くこといふ事になる。英佛に於て大戰以來男子に代りたる婦人勞働者

國家的問題 となりつゝある所以も、歸國軍人の就業問題以外に、疲勞の度に於て男子に及ばざる婦人に此後も勞働を永續させるといふ事が彼等婦人の健全を害するのみならず第二國民の健全に迄支障を來すといふにあるが、猶ほ又且て

女子の疲勞 の男子に及ばざるを證するものではなく、第三に個性型の問題もあるが、個別教育の高唱さる、今日敢て說明を試みる要もなかるべし之れを要する總て我々は疲勞すれば休息乃至睡眠に依りて疲勞恢復を計る。そうしてそれに要する時間は疲勞の度合に依つて一樣ではないが過度の疲勞は

容易に恢復 するものではない時としては永久恢復の望みなきに至るものである。學校教授の上に疲勞問題の閑却すべからざるも此處にある

清遊を兼ねた見學

水源地から涼しい漢江下り

會費は一文も要らぬ　第四回婦人見學團

本社が第三回婦人見學團を催して纛島水源地の見學を致しましたに就ては其の結果非常なる成功を收めましたので京城鐵道水道課では

多大の贊同 を表せられ更に今回の第四回婦人見學團を慫慂されましたので再び同地を見學を擧行する事になりました今回は暑中の事とて半日を見學に費し歸路の半日は清遊を兼ね漢江を舊龍山まで下つて參ります途中纛島水源地の說明は船中で聞き

人道橋下を 過ぎ鐵橋の下を通り拔けて舊龍山電車終點の下に上陸しますので今回の企ても實もと探涼を兼ねた最も愉快な一日の清遊であります漢江の上流纛島附近は全く湖の樣に下るに從つて兩岸の風景は尚ほ諧にある樣で殊に船は大型三十人乘りで日覆も充分にしてありますから吹き込む川風は此の

三伏の暑さ を忘れます又船の中には蓄音器を揃へて臨時に面白い音譜を奏させますから涼みつゝ何時の間にか龍山に著するのであります水源地の休憩所には漢江に臨んで大きな柳の林があります其處では水源地からの冷たい麥湯の御馳走があり飮料水に關する種々の

珍しい試驗 がある筈であります船の中でも水源地からの茶菓が出る筈でありますが今回に限り參加團員は一文も會費は要りませぬ會員は約三百名でありますが船の都合がありますから何うか豫め葉書で本社編輯見學團係りか又は永樂町水道分室まで一日の夕方までにお申込下さい

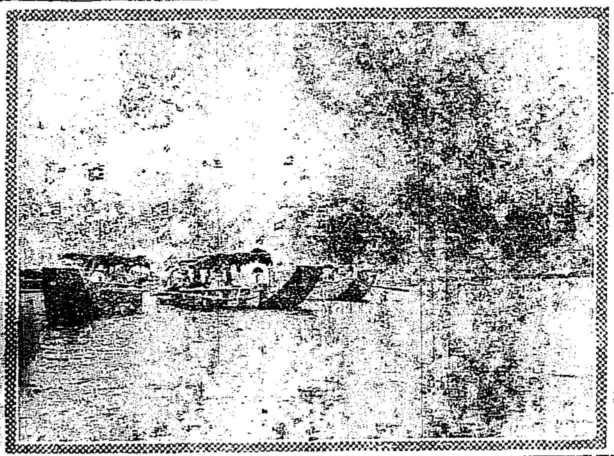
偲び奉る御高德

明治天皇の御事共

御前に於て英語の通譯　脊廣の著用を許し給ふ

（久水外事課長謹話）

自分は明治大皇陛下の御仁德を偲び奉る毎に恐懼の念を禁じ得ない夫は畏い間親く御前に出で御諚をも拜した事が原因して居る事と思ふ、自分は明治廿七八年の日清戰役中大本營附として廣島の大纛地に在勤し外交官や外國觀戰武官の拜謁の際日夕英語の通譯を申上た、其後も外國に赴く際は數回拜謁を仰付られ今に於て御思ひ出多き事共である、陛下寬洪の御德は今更に申上ぐるも畏けれど予が大本營在勤中或時御通譯申上ぐべく御前に出る必要の場合、燕尾服が定規であるのに特別にフロックコートにて差支なき旨宮內大臣の通牒であつた然るに自分は背廣の外所持して居らぬので其旨侍臣より申上げ奉つた處戰時中なれば差支なしとの御諚により自分は恐懼の極みであつたが背廣の仕事着で御前に進み御通譯を申し上げた、返すゞも陛下御仁慈の廣大なる事を今に感銘し奉る次第である



見學團員の漢江清遊船

自殺を思ひ立つた

山憲泣て語る、一時は

山憲渡邊互に罪を一人にて背負はんとす＝中村辯護士面會

豫審二十八日終結

東京監獄收監中の山田憲、渡邊惣藏兩名に對する豫審は二十八日終結し同時に接見禁止解除されたるより山憲と同鄕人なる辯護士中村泰治氏は直ちに東京監獄に到り右兩名に面會したるが山田は同辯護士の顏を見るや暇に喜びに堪へざるもの、如くオヽと涕泣し暫くは聲を立て得ざりしが軈て矢庭に右の手を辯護士の前に差し出し握手を求めたるも握手は獄則にて禁止され居る事とて中村氏は之れを拒絕したり次いで山田は中村氏に向ひ『自己の犯罪より社會を騷がせたるは何んとも申譯無しされば其當時より自殺を思ひ立ちゐたるも渡邊が社會より犯罪の主謀者なるかの如く思はれ居るより右の誤解を公判廷に於て申開かんが爲め自殺を思ひ止まりたり只此上は公正なる判決を受けんのみ』と言ひ尚渡邊も同樣の事を述べたるが山田と渡邊とは互に罪を自己一人にて背負はんとしつゝあるもの、如かりしと又其際渡邊は『此程夢見惡かりしため實母の身の上に變事あるにあらずや』と案じ實母宛に手紙を差出したりと述べたりと

虎列拉彙報

上海邦人患者 上海に於ける虎疫日本患者二十七日四人發生累計二十名に達し內十一名死亡せり

汽車檢疫開始 營口に於ては本月十七日以來支那側に吐瀉患者約百六十名內死亡六十名有り恐らくはコレラならんとの事なるも未だ細菌檢査を施行せざるが故に眞僞判明せず日本側にて取調中多分コレラなるべし右に付き南滿鐵道本線及び安奉線主要停車場にて汽車檢疫を開始の筈尚同地より來る船舶に對しては船客船員に對し悉く糞便檢査を施行することゝせり

下關疑似虎列拉發生

下關內務省土木出張所內傭人宮谷義一（三）林策松（三六）の兩名は何れも疑似虎列拉と診斷直ちに隔離され附近一帶に大消毒を施せり（下關特電）

支那教徒へ質問書

我基督青年會より二十六日上海日本基督教青年會は支那基督教青年會に對し上海に於ける排日運動に同會員たる支那人が多數參加せるは基督教の教義に反するのみならず基督教徒の面目を辱かしむるものなりとて二箇條の事實を指摘せる質問書を提出せり（上海電報）

因に公判は九月中旬頃となるべし（東京特電）

救助網の試驗

近來電車の轢傷頻發するを以て京電道務部にては二十九日富田技手を京電々車課に派遣し救助網の試驗を行ひたり

寬城子事件の殉職警官

長田清四郎氏の面影

寬城子支那兵暴行事件にて殉職せる長春警務署勤務巡査（後補部補）長田清四郎氏は原籍神奈川縣津久井郡與瀨町橫道千五百七十六番地にして行年三十四歲大正四年七月巡査拜命し大正六年十二月長春に來任せしものにて妻女とは去る四十四年結婚せしが未だ子女なし資性淵達にして至極元氣好く同僚知人共常に親交厚く今回の遭難を聞き上下一般同情の淚に咽ばざるは無し猶同氏の正式葬儀は二十五日執行の筈なりしも奉吉軍既に衝突を開始し時局の多端の折柄今暫く延期さるゝ事となれり（長春）

虎疫と鐵道

豫防法決定

近時各地のコレラ流行狀況に依り朝鮮內鐵道に於ても防疫措置の必要あるを以て警務總監部は鐵道當局に協議し鐵道當局に於ては警察官署と協議の上差當り左の事項を實施することゝなれり

一、停車場及列車に於ける清潔方法、便所其の他の消毒方法、飮料水及飮食物の取締、旅客に對する健康狀態の注意其の他コレラ豫防に關し必要なる施設を施行すること

二、コレラ患者發生の場合は傳染病豫防法規、鐵道運輸規程及大正元年八月朝鮮總督府鐵道局長官達第二十六號（乘客中傳染病患者發生したるときの處置方）を定めたるもの）等に基き迅速の處置を爲し得る樣手配し置くこと

明月館再築

百十八坪の三階建過般燒失せる朝鮮料理店明月館は今回再築のこととなり館主金氏は東植より出願中なるが場所は依然舊敗地跡にして同所は交通頻繁の場所柄道路に面せる部分は充分注意を加へ且防火壁の設備樹木の植栽等に風致を添ゆる由にて不日許可の指令あるべきが總建坪百十八坪餘にて客室は二階三階を合せて廿四室あり外に約九十疊の大宴會場をも設けらるべく其筋にては場所柄とて建築設備上大いに制限を加へられたる趣なるも尚且つ朝鮮一の料理店たる俤を失ふが如き事なかるべしと

二千圓詐欺

平北寧邊郡獨山面新興里生れ住所不定の車奎永（三三）は本年四月上旬平壤大和町漢城銀行發行の小切手の使用殘りあるを奇貨とし預金ある如く裝ひ同大和町丸天時計店外十九軒に於て總計二千百六十圓八十五錢の金品を詐取したる事發覺し平壤署に檢擧され嚴重目下取調中なりと（平壤）

避暑地投票

第九回發表

水安堡	二百廿六票
釋王寺	百八十七票
元山	百七十七票
儒城	百四十七票
水原	百四十一票
馬山	百三十八票
海雲臺	八十七票
黃海 正方山	五十八票
金剛山	四十八票
東萊	四十五票
秋風嶺	四十一票
溫陽	二十九票
統營	二十票
俗離山	十九票
仁川	十八票
禮山	十七票
釜山	十三票
公州	十票

（十票以下）光州、木浦、冠岳山、平壤、逍遙山、九味浦、夢金浦、密陽、松島、西原、禪津、全州、慶州、周王山、內藏山、淸道、開城、摩尼山、劍拂浪、平康

慶應軍釜山著

熱誠籠る港頭の歡迎

少し落ち著くと直ぐ猛練習　全市の好球兒を喜ばす

鶴首されたる慶應野球團は廿九日朝八時半釜山入港の昌慶丸にて船室より其雄姿を現はしたり、棧橋には本社特派員及び釜山支局員等朝風に社旗を飜しつゝ一行を歡迎す、其他釜山三田會員全部、各チーム選手、釜山各野球團幹事連赤襟に一行を迎へたり、一行は暫く待合所にか憩後自動車三臺を驅つて沿道歡呼の聲を浴びつゝ九時半鐵道俱樂部に到り、午後四時より大正公園グラウンドにて猛烈なる練習振りを見せ參觀の群衆をして驚嘆せしむ尚多大の人氣を集中しつゝある慶應軍と釜山軍との試合は愈々卅一日午後二時より大正グラウンドにて開始さる可し（釜山電話）

慶應軍陣容

多少變動あり

慶應軍のメンバーは左の如く變更されたり尚キャプテン堀氏は指を負傷し居り今回の鮮滿遠征に參加出來ざりしより二壘の竹中氏代りてキャプテンとなりたりと尚一行學生の先發たる飯沼氏は北京への途次一行と行を共にしつゝあり又田中一誠氏及び同一行のマネジャー黑澤氏も共に來鮮したり（釜山電話）

投手	小野
捕手	鈴木
一壘	永岡
二壘	竹中
三壘	高須
遊擊	杉原
右翼	高濱
中堅	新田
左翼	濱野
補缺	明石 山岡

泥棒を脅喝

本籍不詳住所不定聖天事朴聖春（二十）は本月七八日頃京仁線素砂驛より乘合せたる金頭順外二名が仁川米豆取引所に於て客より八千餘圓を窃取せしことを探知し甘言を以て三人等を永登浦驛に下車せしめ同驛附近のアカシヤ林に誘き出し脅喝し該金員全部强奪して京城に潜伏し居る中を十四日に至りて本町署に檢擧され强盜犯として檢事局に送られたり

龍山の赤痢

原籍長崎縣當時龍山漢江通り四番地松尾ふで（六）は本月廿三日より發病赤痢と診定の結果患家には規定の消毒法を施し總督府醫院に收容されたり

○第二浦の祝賀 第二浦の平和克復并に指定面制施行祝賀及び久保面長歡迎會は豫定の通り二十六日午後七時より大神宮山上に於て開催せられたるが會する者約六百名に達し模擬店其他に種々なる餘興あり散會せるは午前二時過ぎにて盛會なりき

櫻井校野外運動

櫻井校生徒五百餘名は二十九日午前八時より午後四時迄教職員引率の下に奬忠壇に於て野外運動を試みたり

○東雲鶴伯展覽會 在京城清水東雲鶴伯の展覽會は愈八月二、三日長谷川町銀行集會所に於て開催する事に決したるが當日は一般の縱覽を許す意なりと

各地最高溫度

廿九日午後二時測定

釜山　清州　木浦　群山　大田　鳥致院　春川　元山　清津　平壤　鎭南浦　大連　大邱　馬山　安東縣

八十九度一分、氣溫低下し東風强し　八十九度、快晴　七十七度四分　九十六度　八十七度、晴朗　八十六度四分、西北の風　九十三度九分　八十三度三分、昨夏　七十二度　八十度　九十一度、快晴　九十一度、晴天　八十一度七分　八十三度　八十六度四分、快晴　八十九度、午後より南風强し

第四回婦人見學團

左の方法に依て第四回婦人見學團を擧行致ますに就て御參加を乞ふ詳細は別項を御覽下さい

時日 八月三日（第一日曜日）午前九時迄に往十里電車終點に參集

場所 纛島水源地＝同所見學の上漢江を下り舊龍山に歸著解散

會員 約三百名 辨當は各自御携帶の事會費は一文も要りませぬ著物は成るべく浴衣が好いのです

申込 普通葉書に參加人數御認めの上本社編輯局見學團又は永樂町水道分室宛御申込下さい

主催 京城日報社

運動界

三菱の土俵開

三菱製鐵所にては就業職工の奬勵の意味を以て公立尋常高等小學校新築外社宅地域內の二箇所に土俵場を創設し職工連をして任意に取組ましむる計畫を立て坂本町は去る二十三日學校前の方は二十八日何れも盛大なる土俵開きの式を擧げたり（兼二浦）

大連野球大會

大連新報社主催野球大會は廿六日午後四時より西公園に於て開會あり大連汽船對大正隆の第一回試合は全力を擧げて奮戰努めたるも大勢如何ともなし難く五回四の勝を得たるのみにて遂に大汽軍の勝となる成績左の如し

汽 田野 地村 木藤 田須 次 平上 水中 藤野 前見 中村 堅手 捕手 …
大 中捕 二左 三遊 右投 二 …
陸 本間 吉田 田村 入宗 守 坂勝 三村 同小西 多關 …
正 堅手 遊左 捕投 中 一三 右二 …

打數 三振 四球 犠打 安打 死球 盗壘 失策
審判 眞町、上田 球數交代 時間四時十分－七時十分

危く勝つ

三越吳服店對本社の庭球戰は廿八日午後六時より明治町三井物産コートにて擧行、本社軍は勢なく殆んど難倒されたが一組にて漸く喰止め遂に敵の優退二組をも屠つて危く捷てり

貸遊船
舊龍山電車終點
共樂社
電話五二八番

人蔘ココア 美人印
精力忽ち旺盛
容色の美復活

發賣本舖 朝鮮釜山辨天町 ビコワ屋商店

醇良清酒
銀

鮮滿到る處に販賣す
醸造元 平壤 齋藤酒造合名會社

八月一日
棚卸に付休業仕候
京城本町
塚谷洋品店京城出張所

特別賣出
▲軍隊拂下被服類
京城府北米倉町電話千百十二番
村上商店
新品軍隊式茶褐夏服一組 …
同茶褐コール並に杉綾織袴 …
古品各種洋服メリヤス襯衣 …
其他細小倉作業服 …

八月號 新演藝
劇壇の新消息は美しい寫眞と面白い記事で本誌にのみ現る

重なる記事
劇壇懷古 小田原提灯…田村成義
芝居小品 梅幸に似た…吉井勇
劇評 一本杉から…灰野庄平
劇壇感想 若手の喧嘩…青柳有美
劇壇懷古 劇評家の旅…伊原青々園
新作物を上演する時 東京…市川左團次 大阪…中村鴈治郎
新富座雨夜の曲合評 梅幸田脚本輪番講座
素顏の實川延若は 中井浩水、荻野八三郎、大庭治作の諸氏

發行所 東京玄文社

最上醬油
朝鮮仁川港
髙杉醬油釀造場

謝近火御見舞
教育圖書出版業
京城長谷川町
中田晋成館
電話二二〇

優良化粧用
アカシヤ石鹸
ACACIA SOAP
大連 萬玉洋行

みだれ咲き

第百二回　島山碧波作　森田久畫

京城の花柳界に於ける名物女お伊代は嘗て我家の金庫のやうに思つて居る花香が、其の以前山中の本妻であつたと云ふことに暫し呆氣に取られ[illegible]た。[illegible]朝鮮から連れて來た龍雄の病氣を慰いて居た、と同時に山中子爵が既に内地へ戻つた[illegible]を聽き龍雄も驚いた、お伊代も些か拍子抜けがしたのであつた。『ぢや山中樣は内地へお歸りになつたの？』と云つて尚ほも[illegible]『若樣は御前樣の御病氣を見舞に入らつしやつたのだが、夫れは惜しいことをしたね』『でも若樣はお一人で入らつしやつたのですか』[illegible]の樣子を知つて

[illegible]らしい花香は、双眼に涙を浮べてお伊代に默した。
『あら左樣なんだよ。尤も歸りには與樣と御一緒になるお心算のやうだつたわ』
『さうですか』
花香は主婦のお伊代が山中子爵の親夫人と懇意とでも思つたのか何か云はうとしたに俄に口を噤んでしまつた。
『お前さんどうして山中の御前が内地へ戻つたのを知つて居るの？』
『だつて三四日前に我家で送別會をなさいましたもの』
『あら左樣……』
お伊代は花香の答辯を聽くと龍雄と見合せた。
『お父樣はモウ全然の御病氣が癒つたかね』
『はい、全然お宜ろしいやうで御座いました』
此の問答を聽いて居たお伊代は。
『さうして御前樣お一人で我家へ入らつしやつたの？』
『イエ今度の與樣と其の親御樣が入らつしやいましたわ』
『お花、お前は父樣と口を利ひたかい』
『は……はい……』と、答へた花香は其の當時のことを思ひ出したか、ハラ／＼と落淚して。
『何時に變らぬ有難いお言葉を頂戴いたしました、さうして御出發の時は南大門の停車場までお送り申しました』
龍雄は父の全快と聽いて非常に喜んだ、と同時に俄に内地が戀しくなつた。
『お内儀さん、さう云ふことなら僕は内地へ戻りませう』
『さうでございますね、然し貴郎お一人でお歸りになりますのは心配でございます』
俠婦は花香と二人で何かヒソ／＼と相談をして居たが、花香は暫くは涙に暮て龍雄に對する慇懃の言葉も出無いのであつた。
『大丈夫です、お父樣だつて僕の[illegible]かお目に掛つて謝罪すれば許して下さいますよ』
苦勞の足らぬ少年は、餘り心配もして居なかつた。
『花ちやん、夫では斯うして呉れ無いか、私が京城の用事を濟ますと、モウ一度内地へ行くが其の先にお前さんが若樣と御一緒に内地へ行つてお呉れ』
『わ、お同伴しますわ』
『夫には及ばんですよ、僕はお祖父樣の邸へ行きますから』
『ホヽヽ若樣は花ちやんが斯んなだらしの無い風をして居ますから御一緒に行らつしやるのがお厭やでせうが、素人のやうな扮裝をして參ります』
伊代本の主婦お伊代は、龍雄の身を案じていろ／＼と心を碎つて居たが、この時便所に起つた花香は、其の朝配達された東京の新聞を携へて次の間まで來り。
『お女將一寸……』と、息を喘ませながら呼び立てた、さうして何かヒソ／＼と相談をし直び以前の座敷へ戻たお伊代は。
『若樣、私も急に内地に用事が出來ましたから明日花ちやんと貴郎と三人で内地へ戻りませう』と告ける俠婦お伊代の面上には堅い決心の色が浮んで居た。

人蔘エキス
京城本町壹丁目 電話一四八〇・一八七〇番
ツ 津村兄弟商會

人蔘キニーネ
ミルクチヨコレート
安全で美味で滋養に富た

鳥類の羽毛を利用せよ（八）

黄海道畜産技手　吉田雄次郎

元來我國では植物性の副産物は野生のものに至るまで從來相當に利用せられ居れるも動物性の副産物利用方法は漸く近代になてから開けたもので、鳥類羽毛の如きは貴重なる

天與の財寶

なるにも拘らず現在は各農家が自家用に屠殺する場合は勿論鳥肉販賣業者及び料理店、旅館、飲食店等に於ても殆ど塵芥の如く見做して之れを廢棄するか若しくは廢棄するの狀態であるから中で僅に家禽仲介業者や

屑物屋の手

に依りて蒐集されつゝあるものは多少内地へ羽子や其他玩具の製造用ハタキ、首卷、帽子飾等に利用さるゝが其の多くは外國に輸出せらるゝものとなるのである而して其の相場が僅に百斤に付六七圓位ださうで、大正四年度の輸出高が漸く六萬七千餘圓であつたさうである、で

斯かる低廉

なる羽毛の原料が我國から外國に輸出せられ、賃金の高き外國人の勞力にて加工され、之れが羽蒲團として我國に逆輸入されて來ると時は隨分高價なものとなつて居る事は當然である、羽毛蒲團の相場も、所に依つて一定はせないが凡そ一尺五寸羽毛是も

約百匁内外

蒲團地更紗類として約三圓、掛蒲團縱四尺五寸横三尺八寸内外羽毛是も約八百匁内外蒲團地更紗繻子にて二十五圓乃至三十圓位であるから大體の價格を知る事が出來るのである我國は丁抹等に比較すると養雞事業も大に盛んであるとは云はれないまでも内地は總戸數の約三分の一は飼禽者で家禽數も

千五百萬羽

以上に達して居る、而して一箇年中に食用に供せらるゝものは卵用種があるから總數の約三分の二位即ち約一千萬羽である朝鮮の家禽數は四百四十萬羽とあるも此統計よりも多く六百萬羽位確であるそして其の多くは食肉用に供するのであるから

川柳募集

劍花坊先生選

▽多數投稿者の希望により川柳を更に『無題』にて募集す
▽締切の期限を定めず投稿は定時取纒め東部の劍花坊先生の許に送附し選を乞ひ成る可く迅速に發表せんことを期す
▽選稿中の秀句には特に親切なる先生の批評を附せらる可し
▽詠題は時句にても詠史にても又自己の主觀にても周圍の寫生にても隨意の事
▽初心者の爲め先生より特に作例を示さるゝ左の如し謹つて投稿あれ

作・例

いふ事をきかぬ生醉木から落ち
日本の言葉を知つて腹を立て
物さして霍亂の蠅を追ひやり
亭主とは向ふ迎へて霍亂する
色男オレを見たかと供に聞き
……以上吉川柳……
教會のマリヤ孕んだ噂なり
ベルサイユ我田へ水を引き
人を拷へと思ふて腹が立ち
清正は退治た皮に大あぐら
咳一ツきこわぬ中を大臣旗
……以上劍花坊……

日報俳壇

圖緒紫居小集句錄（永登浦）

七月二十日夜皮革會社内なる私の僻居に少數同好者の御集りを願ひ、短夜の客間に滲つて句作しました、窓に淡く流れた銀漢の下に潜まれる庭には蟲聲の唧々たるさへありて秋らしく感ぜられましたが、軒に吊せし燈籠の消ゆる頃かたみに比較的佳句の多かりし點等を語り合ひながら散會したのは十一時半でありました（安藤綠童報）

○
尾を垂れて走る野犬に雷烈し
雷鳴れど荷運ひ止めぬ埠頭哉　緒川原 漢城子
泳ぎ終て戲き立つや夜潮風
雷雨避けて憩ふ樹下や道標神
泳ぎ子や夕日眺めて湧く雄志
泳ぎ疲れて憩ふ砂丘や雲崩る　藤田 黄緣
○
雷の中なる大雨を鳴らし尾垂れ鷄
遠雷や籠に吊して飼ふ小鳥
雷雲を見屆けて卷く錨かな
月の出に水嵩さためらふ泳ぎ哉
疑際又裏戸出で行く泳ぎかな　齊藤 霞月
○
泳ぎ着きし兒が一列に校歌哉
泳ぎ飽きて身を横たふや砂の上
慌しく誓む蠅やはたゝ神
雨過ぎて遠雷に撒ぎ出す投網
泳ぎ子の疲れて上る岩根かな
泳ぎ人に波[illegible]疾風哉
そゝくさと去る[illegible]疾風哉
泳子闇き押し寄る眼に雷雨哉
蚤蚊帳を蚤這ひ寄りし雷雨哉
泳ぎ去る人々に彩陽翳りけり　奈須 逸世
○
汽車道急ぐ雙傘の人やはたゝ神
泳ぐ眼に峰の高さや天が下　今西 湖南
○
黍の中に乾く家路や遠雷す
遠雷や高く揚げし酒肆の旗　名井 井蛙
○
遠雷や小さき渡舟に數の馱馬
遠雷や唯尖り居る山の態（北漢山）　安達 綠笠
○
泳ぐ子に江山陰る雲ありし
碧天に弦月ほのと泳ぎかな
泳ぐ眼に忽然來るあくたかな
宴の燈に飛ぶ蛾二ツや雨の雷
遠雷や木瘤に溜る松落葉

後者の領分

▲京銀當局及び遞信當局に御相談　仕候生等は小僧として銀行又は郵便官署に預金又は現金受取の爲め常に出入する者なるが慶南晉州の京銀支店にては應對叮嚀なるも預金又は現金受取には少くとも一口に付二三十分の時間を要し又同じく晉州にても郵便官署の方は僅かに五分又は十分にて同一金額の受取又は預金が出來得る次第なり此兩者中城外郵便所は仕事早きも人民に對し野卑横暴に應對し京銀は叮嚀なるも仕事に意外に隙々兩者出合にて速かに御改革を望む（晉州小僧總代）

▲[illegible]御掲載方を願上ましたら早速御掲載下されまして誠に感謝致します娘一人に婿八人の希望者が御座いましたが第一番の大和町居住久野さんと仰しやる初對面の愛犬家に無償差上ることにしました犬は御應の樣で目下新主人に愛されて居ます延延ながら茲に厚く御禮申上ます（森生）

▲忠南田吾作君に答ふ　君は[illegible]法を辨へずして一時間余發砲して一圓九十錢のチヤカシ料を徴收せられしと云ふ是れ知らざるが故に第九條に依り種々嘲きに處せられたるなり若し知つて發砲するときは遊客濱浪放第四十三條に依り祖先傳來の財産全部沒收の上身柄は松林中に引致せられ毒藥又は切腹の刑に處せらる注意すべし（遊興法律家）

▲目下兵手續中なる憲兵制度改正は一日も速く發表實施するを要す一日延びれば一日帝國の不利益なり在鮮數千名の憲兵は昨今浮腰にて仕事も手に就かざるなり速に改正し須らく相當恩給の途を講じ在鮮憲兵全部を撤廢すべし之れ一般兵の望む處なり聞くが如くんば一時人員の補充付くまで憲兵に巡査の服を着けさしめんとの議ありとか之れ絶對不可なりさんざん憲兵に惡名を附し置き乍ら何たる醜言ぞ憐な烏さするも烏は烏なり吾人は制度改正を不可とするにあらず然も憲兵の遣り方惡しとして改正する以上何處迄も根本的改革を要すと云ふにあり服を更へ一時を胡麻化過ぜしめんとするは絶對不可なりと云ふにあり吾人憲兵として[illegible]最も不安なる職に在るを欲せん[illegible]人員補充及び建製等の爲め改正を遲延する勿れ[illegible]吾人は發表次第直ちに行李を纒めて故郷に向ひ出發せんとするものなり憲兵の聲なり（某憲兵）

大阪財界便り

二十錢、先物八月渡四十圓八十錢利は運賃高に應じつゝありしが三日歩合も同一の程に惡騰し前日[illegible]

○ミツワ家庭藥

内容を公示し責任を明かにせる本邦唯一の

處方明記

一、處方を明記し内容を明かにす

如何なる藥品を如何なる分量で調合してあるか分らず、隨つて責任を明かにせぬ賣藥は、如何程効能を吹立てゝも決して安心して用ひられない、然るにミツワ家庭藥は其の處方を容器にも説明書にも明記して、内容の藥品の名稱と分量とを公示し、且説明書には其の奏効する理由を明瞭に説き、責任を明かにしてあるから安心して用ひられる、此の處方を公開する方法は本邦には未だ曾て無いことで、實にミツワ家庭藥を以て嚆矢とする、さりとて是さへあれば決して醫療を受けるに及ばぬと云ふが如き誇大瞞着的の賣藥では無い、要するにミツワ家庭藥は現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關である

一、處方的確にして奏効顯著なり

同一の疾病に對しても處方は種々あるが、處方が的確で無ければ能く良効を擧げる理が無い、然るにミツワ家庭藥の處方は何れも斯道の專門家が現今學理上から考へても亦實驗上から觀ても、是以上の處方は無いと云ふ所まで研究に研究を重ねたもの故、其の効驗は顯著偉大なることは言ふまでもなく、而も日常起り易き種々の疾病に汎く應用されるやう、三十餘種取揃へてあるから、家庭藥として是程行屆いたものは他に類が無い

一、製劑精確にして効力一定不變也

如何に純良の藥品を調合しても、其の製劑の方法が精確でなければ、藥品の性質が變り遂て効力の一定せぬ憂ひがある、然るにミツワ家庭藥は學識經驗に富める藥學士數名の監督の下に、精確なる製劑法によるのであるから、無責任なる製劑とは其の趣を異にし、製劑上の錯誤は勿論變質の處は絶つて無く、其の効力は常に一定して居て、或は効き一向効かないといふやうな不安心のことが無い

一、藥品純良にして中毒の危險なし

藥品の名稱は同じ藥品でも上下の等級があつて、上等純良のものは効力が强く、而も嘔吐耳鳴等中毒作用が無い、然し下等不純のものは効力が弱く往々中毒の危險を伴ふ、又多くの藥品中には元來性質の劇烈のものもあるが、家庭藥に此の如き劇毒藥や不純の藥品を用ふると、較もすれば過失を生じ易く甚だ危險である、然るにミツワ家庭藥は純良で性質の劇烈ならぬ藥品を用ひてあるから、卓効があつて毫も危險が無い

一、容器完全にして變質の憂なし

縱令處方が的確、製劑が精確、藥品が純良であつても、紙包にして置くと、藥劑は風化潮解して變質し無効有害となる、然るにミツワ家庭藥は容器に鐵罐を用ひて何れも完全にしてあるから、其の中の藥劑が空氣と化合したり濕氣を引いて溶解したりすることが無い、それに包裝が嚴重であるから、如何に酷暑の季節に於ても熱帶地方に在つても、其の中の藥劑が變敗する事がない、それと同時に外出や旅行のとき携帶するのに至極便利である

一、内服藥は錠劑にして服用し易し

總て藥劑には用ふる分量が定まつて居て、それよりも少ければ効驗が無く、又多過ぎれば危險がある、然るにミツワ家庭藥の中、内服藥は總て錠劑に製してあつて、服用者の年齢に依り一回に用ふる錠數が定めてあるから、天秤で量る手數も無く、目分量で服むやうな不確實のこともなく、苦い辛いとか厭ふべき味も毫も感ぜず服めるので小兒にも用ひ易く、煎じて服むやうな面倒も無く、又場合によつて湯や水が無くても嚥み込むことが出來て甚だ簡便である

一、價格低廉にして永く保存に耐ふ

ミツワ家庭藥は[illegible]の價格は相當高いやうに思はれても、一回分に割當てれば決して高くはない何人でも其の公開してある處方に依て調劑したなら、恐らく其の定價よりも以上の價になるであらう、而して一回に用ひ其の殘藥を保存して置けば、如何に永く月日が經つても性質も効力も變らぬから何時でも用ひられる、[illegible]ミツワ家庭藥を平生必ず備へて置き旅行の際にも携帶して早速之を用ふるに限る

ミツワ家庭藥の種類と定價（内地以外は關税運賃を加ふ）

品名	適應	定價
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	卅錠入拾錢・百錠入貳拾錢・三百錠入五拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	卅錠入拾五錢・百卅錠入五拾錢・三五〇錠入壹圓卅錢
ミツワ制酸錠	酒の過飲・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入貳拾錢
ミツワ緩下錠	諸病に因る便秘殊に常習便秘症	四十錠入拾錢・百廿錠入貳拾錢・三五〇錠入五拾錢
ミツワ止瀉錠	一般傳染病以外諸種の下痢	廿五錠入拾錢・六十錠入貳拾錢
ミツワ解毒錠	胃腸を防腐し腸胃病を豫防す	卅錠入拾錢・七十錠入貳拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔蟲等腸内寄生蟲驅除及豫防	廿五錠入貳拾錢・六十錠入四十錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・神身興奮・口中病豫防	紙函入拾錢・罐入參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	卅錠入貳拾錢・百錠入七拾五錢・三百錠入貳圓
ミツワ袪痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の袪痰	卅錠入拾五錢・百錠入四拾錢
ミツワ鎭咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切の鎭咳	百錠入壹圓卅錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入貳圓
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入五拾錢・五百錠入貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入七拾錢・五百錠入參圓
ミツワ鎭痛錠	頭痛・不眠・顔面痛等の如き神經病	百錠入壹圓廿錢
ミツワ婦人錠	婦人生殖器病・貧血・月經痛の[illegible]	八十錠入五拾錢
ミツワ婦人座藥	白帶下・子宮内外膜炎・膣炎等	六個入五拾錢
ミツワ治淋錠	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル五十個入一圓五十錢
ミツワ淋病洗滌藥	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附罐入五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及び眼球の結膜の諸病	點眼器附罐入拾五錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症・衄血等	罐入參拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	罐入貳拾錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及び口中一切の病の洗藥	五十錠入參拾錢
ミツワ洗眼錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入貳拾五錢
ミツワ鎭痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	罐入四拾錢
ミツワ殺蟲液	蚤虱等總て蟲に螫されたる場合	罐入貳拾錢
ミツワ養毛液	脱毛・雲脂多過を防ぐに用ひらる	罐入五拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・會陰臭・手汗・足汗等	罐入參拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脱皮膚擦傷	紙函入拾錢・大函入貳拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛蝨・擦過傷等	硝子器入拾錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚痛痒症・火傷・汗疹等	硝子器入貳拾錢
ミツワ痤瘡膏	痤瘡・酒齄鼻・毛瘡・白癬・疥癬	硝子器入貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬殊に陰囊癬・白癬・濕疹等	硝子器入貳拾錢
ミツワ凍瘡膏	凍瘡・皮膚龜裂・皮膚皸裂・水蟲	硝子器入貳拾錢
ミツワ痔坐藥	痔核・痔瘻・肛門裂傷等痔一切	六個入四拾錢

家庭治療法　醫學士 小山田謙編　四六版本綴二百三十頁
本書は疾病の原因や症狀などを平易に說き、家庭にて施し得る療法を丁寧に敎へたもので、醫師にかかるまでの親切な相談相手である。定價金五十錢。但金卅五錢（郵券代用不苦）を添へ申込あれば一冊送呈す。

ミツワ石鹸　ミツワ椿油　ミツワ家庭藥　ミツワ人參葡萄酒　ミツワ規那鐵葡萄酒　ミツワ肝油ドロップス　御園化粧品　發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑・滋養品・石鹸・香粧品・小間物問屋
丸見屋商店
電信略號〇ミツヤ　振替口座東京七一〇番
營業部電話特長浪花三〇・四四八・四四九・四五〇

陸軍御用
ツ
各支店及全國有名なる藥店に販賣仕居候
御用の爲一層の店に品切の節は本店へ御注文願上候
朝鮮京城本町
津村兄弟商會
電話一四八〇・一八七〇番　振替京城三五二一番

資本金六百[illegible]萬圓
積立金操越金百貳[illegible]
株式會社 十八銀行
京城支店 振替貯金口座[illegible]
同 新[illegible]
同 [illegible]
銀行一般ノ業務ハ勿論[illegible]株式會社[illegible]又京城支店及龍山出張所ニ於テハ[illegible]崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

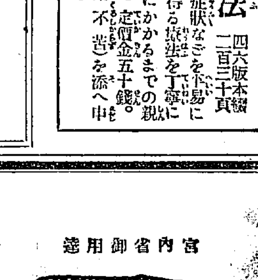
優美堅牢眞に履具合良き
代理部の靴

ボックス	甲	十一圓五十錢
	乙	十圓五十錢
	丙	九圓五十錢
キツド皮	甲	十六圓五十錢
	乙	十五圓五十錢
	丙	十四圓五十錢
白ズック短靴		七圓五十錢

編上及深ゴム同ネダン価格は一圓下り
地方よりの御注文は御一報次第寸法取り圖解
尚既製品御入用の場合は靴種類定數等御知らせ願上候

京城日報社代理部　振替京城三百番

宮内省御用達



ヒゲタ醤油
銚子醤油株式會社釀造
代理店　京城明治町二丁目
櫻正宗發賣元　山邑京城支店
電話長八四九番・四五四番　振替貯金口座京城七五番